2026 年 6 月 22 日修正版
（修正履歴：最終頁参照）

2026 年度

通常総会議事資料

＜議　事＞

１　日　　時

2026 年 6 月 28 日（日）　13:30～17:00（受付 13:00 から）

２　会　　場

大阪大学中之島センター　セミナー室７Ｃ７Ｄ（大阪府大阪市）

３　付議事項

第一号議案　2025 年度事業報告並びに決算及び監査報告について
第二号議案　2026 年度事業計画並びに予算について
第三号議案　2026 年度役員の選任について
第四号議案　定款の一部変更について
第五号議案　会費の変更について

特定非営利活動法人
日本ファシリテーション協会

＜第一号議案＞　2025 年度事業報告並びに決算および監査報告について
（普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決）

2025 年度事業報告

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

以下、事業別に記します（（　）は担当拠点、［　］は報告者を表す）。

１．ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

■　実践力の相互研鑽の場作りの推進（各支部運営委員会）

1）　北海道支部[支部長:東憲治]

- 会員増加を目的として、ファシリテーションの可能性を参加者に伝えるため、フェローの平井雅氏、鈴木まり子氏を迎え、実践的な定例会を開催しました。さらに、深い対話を広げるために、GCBC 理事長の大嶋友秀氏を招いてワールド・カフェを実施しました。
- その他、チャレンジ企画として、運営委員会の 4 名が話題提供を行いました。

2）　東北支部[支部長:今野香代子]

- 1 月には定例会第 200 回を迎え、生成 AI を活用した「未来の東北支部」を考えるワークを実施しました。また、サミットで表彰された「共創のすすめ」をテーマにオンライン読書会を開催し、全国から 30 名弱が参加、活発な意見交換ができました。定例会はサミット開催月を除き毎月開催でき、初参加者や久しぶりの参加者との交流の機会となりました。

3）　東京支部[支部長:岡本久義]

- 今年度は“定例会における会員の満足度を上げ、結果、定例会に参加して頂く人数を増やす”を目標に活動しました。定例会参加人数は約 750 名（前年比 120%、120 名以上の増加）となりました。
- 更なる調査研究の深化を図りフェローとのコラボ企画を計画・実施しました。（11 月：香取一昭氏　12 月：野村恭彦氏）
- 大学とのコラボ企画を計画・実施しました。（6 月：流通経済大学　椎名先生）

4）　中部支部[支部長:上井靖]

- 講師陣の多様化や親子向けワークの実施により、一般参加者の層は広がりました。
全体の動員数としては、わずかに減少する結果となりましたが、今では貴重なオンラインでの学び・交流の場として年 4 回開催、午前開催も含め定着しています。

5）　関西支部[支部長:竹内清臣]

- 他支部、委員会、他組織との協働による定例会を開催し、ファシリテーションの実践と普及を目指しました。また、AI などの最新技術を活用した新たなワークを実施し、時代の変化に応じたファシリテーションの調査研究を行いました。

6）　中国支部[支部長:山口千夏]

- 「失敗熱烈大歓迎」をモットーに、運営委員・参加者が安心して挑戦できる場の提供を目的として、様々なテーマで定例会を開催しました。
- 年 9 回（うちオンライン 2 回）開催し、新メンバーの挑戦や他支部・委員との連携を通じて、多様なテーマでの実践と検証の機会を提供しました。

7）　九州支部[支部長:水野雅士]

- 九州内外の会員の知見を活かした定例会を多く実施しました。セミナー委員会と連携を図り、九州地区での基礎セミナー開催前にセミナー委員による定例会を実施するなど、FAJ 内の他支部、委員会との連携を図り、知見の共有を図りました。
- オンライン定例会を３回実施。福岡以外、九州以外からも多くの参加があり、遠方の会員とつながる場をつくりました。

■　ファシリテーションの本質を探究する全国イベント（全国イベント実行委員会）
［実行委員長：佐々木若菜、担当理事：河野恵　］

『共創　～そこから生まれるものは何か～』をテーマに、宮城県仙台市にて「ファシリテーション・サミット仙台 2025」を開催しました。申込総数は 201 名（FAJ 会員：143 名、非会員 58 名）でした。

仙台は「杜の都」と呼ばれています。「杜」という字には、山などに自然に生えている樹木や草花だけでなく、そのまちに暮らす人々が協力し合い、長い年月をかけて育ててきた豊かな緑という意味があります。その「杜」のようにさまざまな人、企業や団体が協働し、新たな価値を創造する「共創」の場には、ファシリテーションの力が求められると考え、実行委員の想いから、仙台ならではの開催テーマとしました。

基調講演から始まり、ワークショップセレクションやポスターセッションなどで多様な参加者や企業、団体が共鳴し合い、新たな出会いや学び、思い、きっかけなどが生まれていくのを感じることができました。

また、閉会時には、前年度の『ファシリテーション・サミット富山 2024』実践者表彰ならびに、参加者からいただいた言葉等からサミット宣言を作成し、発表が行われました。

＜仙台サミット宣言＞
私たちファシリテーターは、人の可能性と対話の力を信じ、現場に寄り添い、問いを交わし、
つながりを深め、やわらかな変化を生み出しながら共創の場を育みます。

２．ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

（公開セミナー委員会）［委員長：河村学］

1）　集客課題への対応

- 『集客』を最重要課題と捉え、「集客 UP プロジェクト」を継続しました。具体的にはホームページの刷新、SNS 活用、出張講座の仕組み構築など多角的な基盤整備を推進しました。現在、これらの施策が実際の集客に与えた効果を検証しています。

2）　開催中止の増加に伴う受講者数の微減

- 本年度は 2 年ぶりとなる FAJ フェローによる特別講座を 3 回実施したものの、全セミナーの受講者数は 430 名（前年比 29 名減）となりました。
- 受講者減少の直接の要因は、最小催行人数未達による開催中止が 6 講座（前年 3 講座）と倍増したことでした。広報基盤は整いつつありますが、個別の講座を確実に開催に繋げるプロモーションやニーズ把握に課題が残りました。

3.　各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

■　社会からの多様な要請に対する支援の充実（ファシリテーションサポート委員会）［委員長：豊嶋新一］

1）　外部からの問い合わせは 42 件（昨年度は 52 件）。問合せには担当委員がヒアリングを行い、研修会やワークショップ形式での支援を 22 件（同 28 件）行いました。その他にもファシリテーションの導入に関するご相談やワークショップの運営に関する助言、ファシリテーターとして現場に関わる活動も実施しました。

2）　支部・委員会との連携では、中部支部の 5 月定例会、北海道支部の 6 月定例会にファシサポ事例に基づいたプログラムを提供しました。また、各拠点と連携し、新たな会員にメインファシリテーター・サブファシリテーターを担当していただきました。

3）　FAJ 内の情報発信として、広報担当の Web サポーターに協力していただき、ホームページの更新を実施しました。

■　災害復興、防災・減災に関するファシリテーションを通した支援（災害復興委員会）［委員長：平山猛］

1）　災害発生時はファシリテーションを活用した支援として、被災地域における緊急期および復旧期での会議支援等｜復興期において支援団体等からの依頼のもと継続的な支援を実施

- 石川県社会福祉協議会生活支援相談員向けのワークショップを実施しました。また、令和 7 年８月豪雨災害において熊本県八代市の災害ボランティアセンターでの情報共有会議のファシリテーターを行いました。台風の被災地である福島県南相馬市において、南相馬市災害ボランティアセンター連携会議の支援を継続しました。

2）　災害時に備え、被災地での話し合いの支援ができる人材を育成するため、協会内外で板書ボラン

ティア勉強会や実践者養成講座を開催

- 災害時に、FAJ 会員がファシリテーションを活用して地域で出来ることを見つけるための勉強会を実施しました。また、災害支援に関わる団体に向けて、多様な団体と話し合える力を身につけるために実践者養成講座を開催しました。

3) 災害復興や防災活動への関心を高めるため、協会内外において様々な啓発活動を実施

- 災害復興や防災活動への関心を高めるため、復興や防災活動の最前線で活動している方をゲストに迎えトークカフェを開催しました。

４．ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

■ 地域イベントを開催（各支部運営委員会、地域イベント実行委員会）

3 つの支部で地域イベントを開催しました。

1） 北海道支部[支部長:東憲治]

- 2 月に予定していた支部イベント開催は見送りましたが、一般の方から、年間で 10 名の入会者を迎えることができました。

2） 東北支部[支部長:今野香代子]

- 今年度は企画メンバーを立ち上げたものの、準備の遅れにより年度内開催は見送りとなりましたが、次年度は早期着手により実施を目指します。

3） 東京支部[支部長:岡本久義]

- 支部イベント開催は見送りましたが、非会員中心の定例会実施で交流親睦を図りました。
  - ➢ 4 月、2 月：たんぽぽワークショップ開催
  - ➢ 6 月：流通経済大学　学生向けのワークショップ開催

4） 中部支部[支部長:上井靖]

- FAJ 内外の講師によるマルシェ方式のワークショップを展開し、開催しました。
- 一般参加者が半数を超える計 76 名の方にご来場いただき、一定の成果が得られました。
- 一方で、広報に課題を残したため、次年度は年度当初から計画的なプロモーションを展開したいと考えています。

5） 関西支部[支部長:竹内清臣]

- 支部イベントの実施は見送りました。その代わりに、フェロー２名による定例会など、会員相互の交流に努めました。

6） 中国支部[支部長:山口千夏]

- 非会員への実践的・効果的なファシリテーション手法の体験機会の提供のため、「ホワイトボード・ミーティング®」をコンテンツとして、支部イベントを開催しました。高校生も多数参加し、満員での実施となり、参加者から高い評価を得られました。
- 他団体との交流、会員獲得を目的として、まちづくり市民交流フェスタ（広島市まちづくり市民交流プラザ主催）に出展しました。学生含め 32 名に参加いただき、うち 1 名は 1 月定例会にも出席され、ファシリテーションの普及を着実に実践できたと感じています。

7） 九州支部[支部長:水野雅士]

- ファシリテーションを広めるため、外部団体との協働企画に取り組むよう努力し、支部イベントは「一般社団法人オープンダイアローグ・アプローチ研究会 FLAT」からの協力をいただき実施しました。参加者の 4 割以上が非会員の方で、会員以外の方にファシリテーションを知っていただく機会になりました。

■ 国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化（グローバルファシリテーション推進委員会）[委員長:大国兼道]

1） 外部プログラムの導入展開

- 各関係者の活動領域や役割の整理の中で、委員会主導の活動としての実施には至りませんでした。委員会として独自の価値創出に軸足を置き、対話と関係性の醸成を重視した活動へと展開しました。

2） 「あのね会」

- 年間 8 回開催したことにより、文化や言語の違いを越えて安心して語り合える場が継続的

に提供されました。この取組により、参加者同士の相互理解が深まり、信頼関係の基盤が形成されるとともに、主体的な関与と対話の質の向上が見られました。

- 外部団体や個人による多様な活動との関係性を保ちながら、FAJ としての立ち位置や役割についての認識が進みました。その結果、委員会として注力すべき領域が明確になり、今後の活動の方向性に関する共通理解が醸成されました。

■ **他団体との連携強化(理事会、事務局)[事務局長:田代翼]**

調査研究事業・交流親睦事業の各支部運営委員会からの報告のとおりです。
理事会・事務局は、適宜、連携等における事務的サポートを行いました。

５．広報・コミュニケーション活動

■ **FAJ 内外への情報発信の強化(広報委員会)[委員長:増平貴之]**

1) FAJ 内への情報発信の強化

- 会員向け情報の充実： ホームページ上の定例会開催情報の更新、および会員専用サイトへの情報掲載を継続的に実施し、情報アクセスの利便性を高めました。
- コンテンツの発信： 「ニューズレター第 76 号」を発行しました。さらに、新たな試みとして「ファシリテーション通信（第 1 号）」を創刊し、会員への情報提供の幅を広げました。

2) FAJ 外への情報発信の強化

- 広報活動の推進とターゲット別アプローチ：
  - FAJ の活動を広く周知するため、ニュースリリースを積極的に配信しました。
  - 特に若年層（20 代）へのリーチ拡大を目的とし、就職・転職支援サイト「ハタラクティブ」へ活動紹介記事を掲載し、従来の枠組みを超えた、新たな層への認知獲得に向けたチャネル開拓を実施しました。
- 新規コンテンツの展開準備：
  - 既存の概念にとらわれない情報発信の基盤として「ファシリテーション通信」を創刊し、外部向けコンテンツとしての本格展開に向けた運用体制を整備しました。

６．ミッションおよび組織運営に関わる活動

■ **組織のあり方の検討(理事会、有志メンバー)[担当理事:水江泰資]**

ビジョンの普及を有志で行うメンバーで、活動の検討を行いましたが、各メンバーの公私の活動状況などから、直接的な活動はできませんでした。

■ **運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)[事務局長:田代翼]**

1) 2024 年度に、収支適正化チーム（全国の拠点長を中心とした収支バランスの適正化を検討するチーム）から出された提言について、理事会として検討・判断等を実施しました。（各理事会議事録、APPENDIX 参照）
2) 理事会で予算としての単年度収支バランスの適正化についての検討を重ね、情報共有会（11 月、1 月）にて、まずは単年度の収入に見合った支出を確実に行うことが急務として、各拠点長にご理解いただくようお願いしました。
3) システム上の連携ができず、業務委託に頼っていた会費決済システムと会員管理システムを、統合型の新会員管理システム（ぜぶらる）に移行し、業務委託なしでスムーズな業務の実現を図りました。

■ **拠点運営のサポートの充実とデジタル化の推進(デジタル推進委員会)[委員長:増平貴之]**

1) 運営基幹システムの安定運用

- Google Workspace の管理運営により、事務局・拠点間のスムーズなコミュニケーション・文書管理を支援しました。

2) 次期システムへの着手

- 会費決済、会員管理および総会表決に関するシステムの組織最適化のため、利用システムの刷新に向けた要件定義や選定の検討の支援を行いました。

3) デジタル化による効率化の検討

- 組織横断的な情報共有を促進するため、会員・定例会レポートデータベースの仕様検討を推進し、ワークショップを実施しました。また、Microsoft 365 活用による拠点運営の負担軽減策の可能性を検討しました。

■ **各種制度改正への対応[事務局長:田代翼]**

2025 年度は対応すべき制度改正はありませんでした。

7．その他の活動

■ **共通の目的を有する会員・各種団体との価値創出(協働促進プログラム委員会)[委員長:亀井直人]**

1) 組織内外向け広報として、協働促進プログラムの仕組みや案件の活動実態・協力者の声を 10 本作成し発信しました。
2) 新たな協働プロジェクトが立ち上がり、活動を終えたプロジェクトを閉じました。
3) FAJ 内の協働促進プログラムへの協力者増加に努め、委員メンバー、協力メンバーが併せて５名増えました。

■ **拠点外の活動に対する支援(理事会)[担当理事:田代翼]**

会員の有志活動の掲載について、利用ニーズと実情を整理し、実施は保留することとしました。

2025年度事業報告詳細

1. 調査･研究事業

事業内容		実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
北海道支部 定例会	2025/04/02	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	7	22	2
	2025/05/10	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	6	12	2
	2025/06/07	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	6	13	1
	2025/07/05	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	8	10	1
	2025/08/02	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	15	0
	2025/08/30 - 31	北海道札幌市 産業技術教育訓練センター	3	9	0
	2025/10/04	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	3	13	1
	2025/11/01	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	4	14	1
	2025/12/06	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	4	10	2
	2026/01/10	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	15	11
	2026/02/21	北海道札幌市 社会福祉センター	3	12	2
	2026/03/07	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	4	10	1
				受益対象者延べ人数	179
東北支部 定例会	2025/04/05	宮城県仙台市　せんだいメディアテーク	3	6	3
	2025/05/10	宮城県仙台市　せんだいメディアテーク	4	4	4
	（6月）	開催なし			
	2025/07/06	宮城県仙台市　トークネットホール仙台	4	3	5
	2025/08/02	宮城県仙台市　東京エレクトロンホール宮城	4	5	4
	2025/09/13	宮城県仙台市　トークネットホール仙台	2	6	0
	2025/10/11	宮城県仙台市　東京エレクトロンホール宮城	3	3	1
	2025/11/01	宮城県仙台市　トークネットホール仙台	4	1	0
	2025/12/06	宮城県仙台市　せんだいメディアテーク	4	6	0
	2026/01/17	宮城県仙台市　トークネットホール仙台	3	8	3
	2026/01/27	オンライン	5	21	5
	2026/02/15	オンライン	4	7	7
	2026/03/08	宮城県仙台市　東京エレクトロンホール宮城	3	3	0
				受益対象者延べ人数	105
東京支部 定例会	2025/04/12	東京都豊島区　としま区民センター	2	17	1
	2025/04/26	東京都品川区　スクエア荏原	4	7	4
	2025/05/26	東京都葛飾区　かつしかシンフォニーヒルズ別館	10	47	13
	2025/06/25	茨城県龍ヶ崎市　流通経済大学龍ヶ崎キャンパス	6	1	19
	2025/07/26	東京都品川区　きゅりあん	10	44	7
	2025/08/10	オンライン	9	127	53
	2025/09/27	東京都品川区　きゅりあん	5	33	3
	2025/10/11	東京都葛飾区　かつしかシンフォニーヒルズ別館	4	13	3
	2025/11/01	オンライン	8	53	10
	2025/11/22	東京都品川区　きゅりあん	6	28	0
	2025/12/14	東京都品川区　大崎南部労政会館	4	38	0
	2026/01/24	東京都葛飾区　かつしかシンフォニーヒルズ	14	39	8
	2026/02/28	東京都品川区　きゅりあん	17	27	15
	2026/03/28	東京都葛飾区　かつしかシンフォニーヒルズ別館	7	24	10
				受益対象者延べ人数	644
中部支部 定例会	2025/04/05	愛知県名古屋市　東桜会館 第1会議室	6	10	5
	2025/04/19	愛知県名古屋市　東桜会館 第2会議室	2	9	2
	2025/05/17	愛知県名古屋市　第1アメ横ビル4階　貸会議室	3	11	4
	2025/06/21	愛知県名古屋市　貸し会議室イールーム名古屋駅前 A	2	16	7
	2025/06/28	愛知県名古屋市　中生涯学習インター	2	11	4
	2025/07/19	愛知県名古屋市　東桜会館 第1会議室	3	10	2
	2025/08/30	愛知県名古屋市　東桜会館　集会室	1	5	0
	2025/09/20	愛知県名古屋市東区　東桜会館	3	4	12
	2025/09/21	オンライン	5	11	0
	2025/10/18	愛知県名古屋市　東桜会館　集会室	4	12	8
	2025/11/15	愛知県名古屋市　東桜会館　集会室	5	24	2
	2025/11/29	愛知県名古屋市　東山荘	3	11	11
	2025/12/22	オンライン	3	14	1
	2026/01/17	愛知県名古屋市　なごのキャンパス	4	15	12
	2026/02/22	オンライン	3	14	0
	2026/03/21	愛知県名古屋市　東桜会館　第一会議室	2	11	1
	2026/03/28	オンライン	5	11	0
				受益対象者延べ人数	270

関西支部 定例会	2025/04/12	兵庫県西宮市　西宮市民会館	2	18	3
	2025/05/10	兵庫県西宮市　西宮市民会館	14	24	2
	2025/06/07	兵庫県西宮市　西宮市民会館	4	32	4
	2025/07/12	兵庫県西宮市　西宮市民会館	3	8	0
	2025/07/21	大阪府大阪市　東淀川区民会館	2	15	2
	2025/08/09	兵庫県西宮市　西宮市民会館	4	18	2
	2025/09/13	兵庫県西宮市　西宮市民会館	5	22	0
	2025/10/11	大阪府大阪市　SeekS×pot	3	10	1
	2025/10/19	大阪府大阪市　フィルスペ会議室 新大阪プライム	6	13	2
	2025/11/08	兵庫県西宮市　西宮市民会館	3	11	1
	2025/11/22	兵庫県西宮市　西宮市民会館	2	9	1
	2025/11/23	大阪府大阪市　大阪市立総合生涯学習センター	4	2	19
	2025/12/08	オンライン	6	12	2
	2025/12/13	兵庫県西宮市　西宮市民会館	4	5	1
	2025/12/28 - 29	大阪府大阪市　(財)海外産業人材育成協会 関西研修センター(KKC)	3	12	0
	2026/01/10	兵庫県西宮市　西宮市民会館	3	32	3
	2026/01/17	大阪府大阪市　大阪市立総合生涯学習センター	3	1	10
	2026/02/14	兵庫県西宮市　西宮市民会館	1	21	1
	2026/03/07	大阪府大阪市　ほとりで	7	13	12
	2026/03/14	大阪府大阪市　四ツ橋近商ビル	3	37	2
	2026/03/20	兵庫県西宮市　西宮市民会館	4	22	4
				受益対象者延べ人数	409
中国支部 定例会	2025/04/19	広島県広島市　エソール広島　研修室2	3	9	0
	2025/07/12	オンライン	3	18	4
	2025/08/30	広島県広島市　合人社ウェンディひと・まちプラザ研修室A	3	6	1
	2025/09/20	広島県広島市　エソール広島　研修室1	4	11	4
	2025/10/26	広島県広島市　エソール広島	2	2	1
	2025/12/21	オンライン	4	22	2
	2026/01/17	広島県広島市　合人社ウェンディひと・まちプラザ	4	7	4
	2026/02/28	広島県広島市　合人社ウェンディひと・まちプラザギャラリーA	6	8	2
	2026/03/14	広島県広島市　合人社ウェンディひと・まちプラザギャラリーA	4	5	0
				受益対象者延べ人数	106
九州支部 定例会	2025/04/12	福岡県福岡市　福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん	1	9	4
	2025/05/17	福岡県福岡市　福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん	1	11	1
	2025/06/07	オンライン	3	8	4
	2025/07/05	福岡県福岡市　福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん	1	9	3
	2025/08/02	福岡県福岡市　福岡県立ももち文化センター	2	9	2
	2025/09/06	オンライン	3	11	2
	2025/10/04	福岡県福岡市　福岡県立ももち文化センター	3	5	1
	2025/10/17	オンライン	3	9	2
	2025/11/01	福岡県福岡市　福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん	3	15	2
	2025/11/28	オンライン	5	8	0
	2025/12/06	福岡県福岡市　福岡県立ももち文化センター	1	12	3
	2026/01/10	福岡県福岡市博多区　福岡商工会議所	1	10	0
	2026/01/23	オンライン	1	5	0
	2026/02/14	福岡県福岡市　ももち文化センター	2	8	1
				受益対象者延べ人数	154
支部合同開催		開催なし			
				受益対象者延べ人数	0
ファシリテーション サミット	2025/06/14-15	宮城県仙台市　せんだいメディアテーク他およびオンライン	11	143	58
				受益対象者延べ人数	201
サロンサポート	ー	地域型12か所(秋田、群馬、埼玉、新潟、富山、和歌山、岡山、四国、佐賀、熊本、長崎、沖縄)テーマ型3か所(ビジネスファシリテーション実践、TOC×Facilitation、行動科学ファシリテーション研究)	-	-	-
				受益対象者延べ人数	-
出前授業プロジェクト	無し	大阪府河内長野市より問合せがあったが出講には至らず。			
				受益対象者延べ人数	-

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー 基礎講座	2025/04/19	オンライン	6	6	5
	2025/04/20	東京	7	9	9
	2025/05/17	東京	7	12	8
	2025/06/01	名古屋	7	5	6
	2025/06/24	横浜	2	0	43
	2025/06/28	神戸	6	10	8
	2025/07/21	東京	12	13	19
	2025/08/03	オンライン	8	6	13
	2025/09/20	東京	11	10	17
	2025/09/27	名古屋	6	4	8
	2025/10/18	仙台（中止）	0	0	0
	2025/11/08	札幌（中止）	0	0	0
	2025/11/15	東京	6	4	13
	2025/11/30	神戸	5	9	6
	2025/12/07	オンライン	7	2	17
	2025/12/20	沖縄（中止）	0	0	0
	2026/01/17	東京	6	1	18
	2026/02/01	名古屋	6	10	6
	2026/02/14	広島（中止）	0	0	0
	2026/02/21	仙台（中止）	0	0	0
	2026/02/21	福岡	3	8	5
	2026/02/23	東京	6	4	16
	2026/03/14	札幌	6	6	4
	2026/03/15	新潟	5	3	9
実践講座	2025/08/02	東京	6	6	4
	2025/11/29	東京（中止）	0	0	0
	2026/03/20	東京	6	8	7
特別編	2025/09/13	東京	7	8	2
	2025/12/06	大阪	4	7	3
	2026/03/07	東京	4	10	5
アフター ミーティング	2025/06/21	オンライン	4	8	2
	2025/10/18	オンライン	4	0	1
	2026/02/21	オンライン	2	2	2
				受益対象者延べ人数	427

3. 支援･助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ファシリテーションサポート委員会	2025/04/17 他11回	大阪府大阪市　私立大学「新入生向けワークショップ」	6	0	811
	2025/05/13 他1回	東京都品川区　行政「重層的支援体制整備のためのファシリテーション研修」	4	0	37
	2025/05/25	福島県福島市　行政「市民向けワークショップ」	3	0	87
	2025/05/27	新潟県胎内市　公立高校「ファシリテーション講座」	2	0	88
	2025/06/28	福岡県久留米市　行政「市民向けワークショップ」	3	0	24
	2025/07/03	東京都小金井市　国立大学「学生向けファシリテーション演習」	2	0	33
	2025/07/17 他1回	北海道千歳市　行政「職員向けファシリテーション研修」	3	0	30
	2025/08/17	群馬県前橋市　社団法人「社会福祉士向けファシリテーション研修」	3	0	30
	2025/08/19	埼玉県浦和市　独立行政法人「学生向けファシリテーション研修」	2	0	19
	2025/08/25 他4回	沖縄県沖縄市　私立大学「学生向けファシリテーション講座」	3	0	42
	2025/09/30 他7回	群馬県高崎市　公立大学「学生向けファシリテーション演習」	3	0	136
	2025/10/27 他1回	兵庫県宝塚市　社会福祉法人「職員向けファシリテーション研修」	2	0	49
	2025/10/29	広島県広島市　行政「包括支援センター職員向け研修ワークショップ」	2	0	18
	2025/11/07	岩手県盛岡市　行政「ワークショップファシリテーター」	2	0	60
	2025/11/17	北海道千歳市　行政「職員向けファシリテーション研修」	3	0	30
	2025/11/19	神奈川県横浜市　行政「障がい福祉担当者向けファシリテーション研修」	3	0	29
	2025/12/04 他1回	富山県富山市　国立大学「教員向けファシリテーション研修」	2	2	32
	2025/12/04	東京都中野区　行政「職員向けファシリテーション研修」	2	0	24
	2025/12/04	千葉県市原市　行政「市民向けファシリテーション研修」	2	0	23
	2026/01/13	和歌山県和歌山市　行政「職員向けファシリテーション入門研修」	1	0	26
	2026/01/28	愛知県名古屋市　任意団体「高校教員向けファシリテーション研修」	2	0	26
	2026/03/03	京都府福知山市　行政「市民向けファシリテーション研修」	1	1	16
				受益対象者延べ人数	1,673
災害復興委員会	2025/04/18	石川県金沢市　石川県社協生活支援相談員向けワークショップ	6	0	71
	2025/05/07	福島県南相馬市　南相馬市災害ボランティアセンター連携会議	2	0	15
	2025/08/14	福島県南相馬市　南相馬市災害ボランティアセンター連携会議	2	0	17
	2025/10/14	兵庫県神戸市　K-TEC定例会講演	1	1	17
	2025/10/31	熊本県八代市　やつしろ支援団体連携会議（第4回）	1	0	20
	2025/11/14	福島県南相馬市　南相馬市災害ボランティアセンター連携会議	2	0	12
	2025/11/28	熊本県八代市　やつしろ支援団体連携会議（第5回）	1	0	20
	2025/12/26	オンライン　災害復興トークカフェ	4	5	34
	2026/02/03	オンライン　災害復興トークカフェ	3	14	10
	2026/02/19	福島県南相馬市　南相馬市災害ボランティアセンター連携会議	3	0	8
	2026/02/21	オンライン　実践者養成講座（第1回）	2	6	7
	2026/02/23	東京都文京区　日本財団Volunteer's Summit 2026	1	2	50
	2026/02/27	オンライン　災害復興委員会活動報告会	6	10	1
	2026/02/28	広島県広島市　中国支部定例会話題提供	3	7	2
	2026/03/07	オンライン　実践者養成講座（第2回）	3	4	4
				受益対象者延べ人数	337

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
地域イベント	2026/02/15	愛知県名古屋市 愛知みずほ大学 支部イベント「あつまれ!トークフェスなごや2026 ～ 感じよう♪ ワークショップのチカラ～」	37	7	32
	2025/05/31	広島県広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ 支部イベント「話し合いが変われば、未来が変わる!? ～ホワイトボード・ミーティング®で体感する、話し合いのカタチ～」	9	12	34
	2025/11/16	広島県広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ まちづくり市民交流フェスタ出展　ファシリテーション体験	5	0	32
	2026/03/22	福岡県福岡市 福岡県教育会館 支部イベント「深まる！広がる！動き出す！対話とファシリテーション」	10	15	19
				受益対象者延べ人数	151
グローバル委員会	2025/08/10	オンライン開催（Zoom）・ はこだて国際科学祭 ワークショップ開催	5	6	4
	2025/08/14	オンライン開催（Zoom）・ 瀬戸内国際芸術祭	2	2	0
	2025/08/23	オンライン開催（Zoom）・ 第1回あのね会開催	3	9	0
	2025/10/04	オンライン開催（Zoom）・ 第2回あのね会開催	4	4	0
	2025/10/24	オンライン開催（Zoom）・ 科学技術の社会実装 企画会議	3	3	0
	2025/10/30	オンライン開催（Zoom）・ 第3回あのね会開催	5	2	0
	2025/11/17	オンライン開催（Zoom）・ 第4回あのね会開催	5	5	0
	2025/12/06	ハイブリッド（実会場・Zoomウェビナー）・科学技術の社会実装 JSTS学会発表	1	20	0
	2025/12/22	オンライン開催（Zoom）・ 第5回あのね会開催	7	2	0
	2026/01/29	オンライン開催（Zoom）・ 第6回あのね会開催	5	3	0
	2026/02/17	オンライン開催（Zoom）・ 第7回あのね会開催	5	3	0
	2026/03/24	オンライン開催（Zoom）・ 第8回あのね会開催	3	3	0
				受益対象者延べ人数	66
共催・後援等イベント	2025/05/18	東京都中央区 後援：IAF JAPANチャプター Facilitators' Evening～Flow Game 体験～	－	1	1
	2025/05/31	広島県広島市 後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会 中国支部イベント「話し合いが変われば、未来が変わる！？～ホワイトボード・ミーティング®で体感する、話し合いのカタチ～」	9	12	34
	2025/06/14-15	宮城県仙台市 後援：宮城県教育庁/仙台市教育委員会 ファシリテーションサミット仙台	11	143	58
	2025/09/14-15	東京都新宿区 協力：朝日新聞社 未来の先生フォーラム2025「あしたの学校ー可能性と実践ー」	1	12	66
	2026/02/15	愛知県名古屋市 後援：名古屋市教育委員会/愛知県教育委員会/愛知みずほ大学　協力：NPO法人アスクネット/一般社団法人アスバシ/NPO法人なごやAsoviva 中部支部イベント「あつまれ！トークフェスなごや2026　～ 感じよう♪ ワークショップのチカラ～」	37	7	32
	後援：こども国連環境会議推進協会 ファシリテーター99人カイギ				
	2025/05/21	東京都新宿区、オンライン	5	1	40
	2025/06/28	大阪府大阪市、オンライン	5	0	44
	2025/07/18	東京都新宿区、オンライン	5	0	21
	2025/08/23	大阪府大阪市、オンライン	5	0	24
	2025/09/19	東京都新宿区、オンライン	5	0	19
	2025/10/18	大阪府大阪市、オンライン	5	0	15
	2025/11/19	東京都新宿区、オンライン	5	0	92
	2025/12/20	大阪府大阪市、オンライン	5	6	15
	2026/01/21	東京都新宿区、オンライン	5	0	25
	2026/02/14	大阪府大阪市、オンライン	5	0	33
	2026/03/19	東京都新宿区、オンライン	5	0	20
				受益対象者延べ人数	721

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所･実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ニューズレター	2025/12/19	東京都渋谷区　FAJ東京事務所、他全国　76号		約1000	－
ファシリテーション通信	2026/03/29	東京都渋谷区　FAJ東京事務所、他全国　1号		約1000	－
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区　FAJ東京事務所、他全国		－	不特定多数
メーリングリスト SNS	随時	東京都渋谷区　FAJ東京事務所、他全国		約1000	－
広報委員会	2025/09/04	オンライン開催（Zoom）９月よろず相談	7	1	0
	2025/10/04	オンライン開催（Zoom）１０月よろず相談	6	1	0
	2025/11/06	オンライン開催（Zoom）１１月よろず相談	5	2	0
	2025/12/04	オンライン開催（Zoom）１２月よろず相談	5	1	0
				受益対象者延べ人数	5
協働促進プログラム委員会	2025/07/12	兵庫県西宮市 グラミン×FAJプロジェクト	3		31
	2025/07/26	山梨県　グラミン×FAJプロジェクト	3		29
	2025/08/23	奈良県　グラミン×FAJプロジェクト	1		25
	2025/08/30	鳥取県　グラミン×FAJプロジェクト	3		26
	2025/09/06	群馬県　グラミン×FAJプロジェクト	3		28
	2025/09/07	群馬県　グラミン×FAJプロジェクト	3		30
	2025/09/13	長野県佐久市　グラミン×FAJプロジェクト	2		20
	2025/09/20	福岡県　グラミン×FAJプロジェクト	3		43
	2025/09/27	栃木県　グラミン×FAJプロジェクト	1		28
	2025/10/19	三重県志摩市　グラミン×FAJプロジェクト	1		14
	2026/02/03	愛知県名古屋市 名古屋工業大学において科学技術の社会実装プロジェクトによる講義提供実施	6		14
				受益対象者延べ人数	288

6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	2025/06/15	東京エレクトロンホール宮城	77	－	－
理事会	2025/04/20	各所オンラインにて実施	10	－	－
	2025/05/11	各所オンラインにて実施	10	－	－
	2025/07/20	各所オンラインにて実施	8	－	－
	2025/08/17	各所オンラインにて実施	9	－	－
	2025/09/21	各所オンラインにて実施	8	－	－
	2025/10/13	各所オンラインにて実施	9	－	－
	2025/11/24	各所オンラインにて実施	9	－	－
	2025/12/14	各所オンラインにて実施	8	－	－
	2026/01/18	各所オンラインにて実施	8	－	－
	2026/02/23	各所オンラインにて実施	9	－	－
	2026/03/15	各所オンラインにて実施	8	－	－
情報共有会	2025/11/09	各所オンラインにて実施	32		
	2026/01/31	各所オンラインにて実施	32	－	－

令和7年度会計財産目録

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科目・摘要		金額 （単位：円）		
Ⅰ 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	0		
普通預金	三菱UFJ銀行西新宿支店	621,394		
普通預金	三菱UFJ銀行西新宿支店	201,031		
普通預金	三菱UFJ銀行西新宿支店	253,531		
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	5,334,670		
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	8,087,325		
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	8,722,533		
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	9,557,365		
普通預金	楽天銀行	775,134		
前渡金		0		
未収入金		0		
仮払金	預金源泉税	10,200		
流動資産合計			33,563,183	
2 固定資産				
固定資産		0		
固定資産合計		0	0	
3 投資その他の資産				
差入保証金	レンタルスペース	29,580		
			29,580	
資産合計				33,592,763
Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金		2,180,410		
前受金	2026年度会費	9,479		
預り金	講師謝礼源泉所得税	82,583		
流動負債合計			2,272,472	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				2,272,472
正味財産				31,320,291

令和7年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 （単位：円）		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金 三菱UFJ銀行（経費）	621,394		
普通預金 三菱UFJ銀行（新規会費）	201,031		
普通預金 三菱UFJ銀行（継続会費）	253,531		
普通預金 三井住友銀行	5,334,670		
普通預金 三井住友銀行	8,087,325		
普通預金 三井住友銀行	8,722,533		
普通預金 三井住友銀行	9,557,365		
普通預金 楽天銀行	775,134		
前渡金			
未収入金			
仮払金	10,200		
流動資産合計		33,563,183	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0	0	
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			33,592,763
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未　払　金	2,180,410		
前　受　金	9,479		
預　り　金	82,583		
流動負債合計		2,272,472	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,272,472
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		29,391,563	
当期正味財産増加額		1,928,728	
正味財産合計			31,320,291
負債及び正味財産合計			33,592,763

令和7年度「その他の事業」会計貸借対照表

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 （単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
Ⅱ　負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

令和7年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科　目	金額（単位：円）		
（資金収支の部）			
Ⅰ 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	9,345,000		
法人会費	0	9,345,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	1,198,300		
教育・普及事業収入	8,582,500		
支援・助言事業収入	4,431,656		
交流・親睦事業収入	336,600		
その他事業収入	518,910	15,067,966	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
4 助成金	250,000	250,000	
経常収入合計			24,662,966
Ⅱ 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	4,174,419		
教育・普及事業費	6,983,515		
支援・助言事業費	3,720,126		
交流・親睦事業費	615,651		
その他事業費	695,863	16,189,574	
2 管理費			
広　報　費	0		
交通宿泊費	731,738		
謝　礼　等	0		
会　議　費	82,771		
事務消耗品費	38,555		
通信運搬費	0		
諸　会　費	61,100		
資料印刷費	59,215		
外部委託料	3,650,494		
支払手数料	299,159		
地代家賃	954,341		
賃　借　料	0		
保　険　料	33,903		
租税公課	1,330,430		
雑　　費	62,968	7,304,674	
経常支出合計			23,494,248
経常収支差額			1,168,718
Ⅲ その他資金収入の部			
その他資金収入合計	760,010	760,010	760,010
Ⅳ その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額			1,928,728
前期繰越収支差額			29,391,563
次期繰越収支差額			31,320,291

令和7年度「その他の事業」活動計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科　目	金額（単位:円）		
（資金収支の部）			
Ⅰ 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
Ⅱ 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
Ⅲ その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
Ⅳ その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

2025年度「特定非営利活動に係る事業」（「その他の事業」は収入・支出共に無し）　　単位＝円

協働促進プログラム委員会は、現在、特定非営利活動の中におけるその他事業として取り扱っております。

2025年4月1日から2026年3月31日まで　　特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科　目	予算	2025年度実績	予算差異	実績内訳												
				事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開ｾﾐﾅｰ	ｻﾐｯﾄ	ファシサポ	災害復興	協働促進
Ⅰ 経常収入の部																
1 会費収入																
個人会費収入	10,000,000	9,345,000	▲ 655,000	9,345,000												
法人会費収入	0	0	0													
	10,000,000	9,345,000	▲ 655,000	9,345,000												
2 事業収入																
調査･研究事業収入	1,072,800	1,198,300	125,500		0	41,000	336,000	56,000	58,000	22,500	30,000		654,800			
教育･普及事業収入	11,233,000	8,582,500	▲ 2,650,500									8,582,500				
支援･助言事業収入	3,940,000	4,431,656	491,656											3,816,637	615,019	
交流･親睦事業収入	752,500	336,600	▲ 415,900		0	0	0	44,000	0	165,000	127,600					
その他事業収入	535,000	518,910	▲ 16,090													518,910
	17,533,300	15,067,966	▲ 2,465,334		0	41,000	336,000	100,000	58,000	187,500	157,600	8,582,500	654,800	3,816,637	615,019	518,910
3 寄付金収入																
個人寄付金	0	0	0													
法人寄付金	0	0	0													
	0	0	0													
4 助成金等収入																
民間助成金	250,000	250,000	0										250,000			
	250,000	250,000	0										250,000			
経常収入合計	27,783,300	24,662,966	▲ 3,120,334	9,345,000	0	41,000	336,000	100,000	58,000	187,500	157,600	8,582,500	904,800	3,816,637	615,019	518,910
Ⅱ 経常支出の部																
1 事業費																
調査･研究事業支出					北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州		ｻﾐｯﾄ	ｻﾛﾝ	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	
会場使用料	2,133,460	1,309,221	▲ 824,239		216,375	77,300	200,200	174,802	330,664	61,580	59,470		188,830	0	0	
事務消耗品費	267,262	331,641	64,379		176,979	2,411	72,790	16,151	26,624	9,327	5,414		21,945	0	0	
交通宿泊費	1,223,000	800,673	▲ 422,327		267,541	68,310	26,640	93,808	65,970	176,350	58,662		43,392	0	0	
謝礼等	934,000	967,427	33,427		33,000	33,411	55,000	288,192	55,685	0	33,529		468,610	0	0	
印刷費	146,000	54,134	▲ 91,866		5,390	1,340	5,330	7,450	10,160	6,970	2,230		15,264	0	0	
会議費	236,710	164,251	▲ 72,459		19,580	23,525	450	23,121	55,690	0	41,885		0	0	0	
通信運搬費	0	20,590	20,590		20,590	0	0	0	0	0	0		0	0	0	
雑費	359,720	526,482	166,762		0	29,885	176,836	8,735	22,613	6,267	4,635		78,330	199,181	0	
外部委託料	170,000	0	▲ 170,000		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	
	5,470,152	4,174,419	▲ 1,295,733		739,455	236,182	537,246	612,259	567,406	260,494	205,825		816,371	199,181	0	
教育･普及事業支出												公開ｾﾐﾅｰ		サロン詳細		
会場使用料	2,170,000	1,157,938	▲ 1,012,062									1,157,938		【サロン：（地域型）12/（テーマ型）3】		
事務消耗品費	130,000	74,479	▲ 55,521									74,479		各サロンの活動にかかる、会場使用料，事務消耗品費，交通宿泊費などの経費。		
交通宿泊費	2,470,000	1,634,689	▲ 835,311									1,634,689				
謝礼等	3,860,000	3,054,635	▲ 805,365									3,054,635		サロンの活動実態に合わせ雑費として計上している。		
印刷費	440,000	320,806	▲ 119,194									320,806				
会議費	200,000	154,226	▲ 45,774									154,226				
雑費	663,000	586,742	▲ 76,258									586,742				
	9,933,000	6,983,515	▲ 2,949,485									6,983,515				
支援･助言事業支出														ファシサポ	災害復興	
会場使用料	195,000	0	▲ 195,000											0	0	
事務消耗品費	42,000	61,281	19,281											61,281	0	
交通宿泊費	1,936,000	1,827,336	▲ 108,664											974,905	852,431	
謝礼等	1,290,000	1,775,213	485,213											1,447,336	327,877	
印刷費	40,000	26,710	▲ 13,290											0	26,710	
会議費	0	24,000	24,000											0	24,000	
雑費	122,000	5,586	▲ 116,414											0	5,586	
	3,625,000	3,720,126	95,126											2,483,522	1,236,604	
交流･親睦事業支出					北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル				
会場使用料	605,000	316,230	▲ 288,770		0	0	0	222,620	0	0	93,610	0				
事務消耗品費	55,000	5,606	▲ 49,394		0	0	0	1,760	0	3,846	0	0				
交通宿泊費	290,000	86,040	▲ 203,960		0	0	0	0	0	21,740	64,300	0				
謝礼等	267,500	89,096	▲ 178,404		0	0	0	0	0	0	89,096	0				
印刷費	55,000	31,986	▲ 23,014		0	0	0	5,645	0	23,375	2,966	0				
会議費	37,500	3,066	▲ 34,434		0	0	0	1,878	0	1,188	0	0				
雑費	109,670	83,627	▲ 26,043		0	0	0	7,560	0	32,602	16,965	26,500				
外部委託料	15,000	0	▲ 15,000		0	0	0	0	0	0	0	0				
	1,434,670	615,651	▲ 819,019		0	0	0	239,463	0	82,751	266,937	26,500				
その他事業支出																協働促進
会場使用料	50,000	9,900	▲ 40,100													9,900
事務消耗品費	0	819	819													819
交通宿泊費	310,000	286,721	▲ 23,279													286,721
謝礼等	423,500	397,993	▲ 25,507													397,993
印刷費	0	0	0													0
会議費	0	0	0													0
雑費	0	430	430													430
	783,500	695,863	▲ 87,637													695,863
事業支出計	21,246,322	16,189,574	▲ 5,056,748	0	739,455	236,182	537,246	851,722	567,406	343,245	472,762	7,010,015	816,371	2,682,703	1,236,604	695,863
2 管理費				事務局	デジタル	広報	詳細（主な支出について）									
広報費	10,000	0	▲ 10,000	0	0	0										
交通宿泊費	900,000	731,738	▲ 168,262	731,738	0	0	（理事会）総会、新役員候補、（事務局）総会、リアルMTG									
謝礼等	0	0	0	0	0	0										
会議費	100,000	82,771	▲ 17,229	82,771	0	0	（事務局）総会開催費用									
事務消耗品費	25,000	38,555	13,555	10,780	0	27,775	名刺代、その他備品消耗品									
通信運搬費	39,790	0	▲ 39,790	0	0	0	郵便、電話、システム利用料									
諸会費	61,000	61,100	100	61,100	0	0	JVOAD、日本NPOセンター									
雑費	150,000	62,968	▲ 87,032	44,378	0	18,590	ドメイン使用料、会計ソフト利用料、会費二重振込者への返金　など									
資料印刷費	0	59,215	59,215	59,215	0	0	新会員管理システム未ログイン者への案内はがき印刷・送付費用									
外部委託料	3,562,000	3,650,494	88,494	3,456,894	105,600	88,000	会計事務、税務、決済サービス、登記、会員管理、経費精算、（緊急案件）HPサーバーupdateに伴う更新作業									
支払手数料	520,000	299,159	▲ 220,841	299,159	0	0	振込手数料、EB使用料、会費払込手数料									
賃貸料	1,000,000	954,341	▲ 45,659	954,341	0	0	主たる事務所家賃、倉庫（中部、関西）、セミナー倉庫代、その他									
租税公課等	100,000	1,330,430	1,230,430	1,330,430	0	0	源泉所得税、法人税均等割、消費税									
保険料等	40,000	33,903	▲ 6,097	33,903	0	0	NPO損害保険									
管理支出計	6,507,790	7,304,674	796,884	7,064,709	105,600	134,365										
経常支出合計	27,754,112	23,494,248	▲ 4,259,864													
Ⅲ その他資金収入の部																
その他資金収入合計	0	760,010	760,010	※2024年度に支出した、全国イベントの施設使用料の返金。並びに総会会場費に係る事務局から拠点への資金移動を会計上収入扱いとした結果												
Ⅳ その他資金支出の部																
その他資金支出合計	0	0	0													
■当期収支差額	29,188	1,928,728	1,899,540													
2025年3月末時繰越金額	29,391,563			※2025年度資料では33,046,489円の記載でしたが、同額は未払金等の負債を減額する前の金額で、正しくは29,391,563円でした												
2026年3月末時繰越金額	29,420,751	31,320,291	1,899,540													

令和７年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

令和８年５月１日

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会
会　長　　山田　真司

監査報告書

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会
会　長　山田　真司　殿

私たちは、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会及びそのほかの重要な会議に出席し、必要と認める場合には質問をしました。また、財産の状況に関する監査に当たっては、財務諸表等（活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記及び財産目録）と帳簿や証拠書類等との照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する重大な事実はなく、法人の財産の状況は、NPO 法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められました。

記

令和８年５月１日

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会
監　事　鳥羽秀人　印
監　事　野口和裕　印

＜第二号議案＞　2026 年度事業計画並びに予算について
（普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決）

2026 年度事業計画書

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

＜事業計画のポイント＞

2026 年度の FAJ は、一人ひとりがファシリテーションと対話の力を信じ、仲間とともにより良い社会に向けた実践を積み重ねていきます。

- **様々な社会課題をファシリテーションの力で解決すべく、さらなる一歩を踏み出そう。**
- **ともに歩むファシリテーター仲間を増やし、社会により大きなインパクトを与えよう。**

FAJ は 2003 年に「ファシリテーションの普及を通じた多様な人々が協調しあう自律分散型社会の実現」を掲げて発足し、23 年目を迎えました。私たちはこれまで、対話の価値が揺らぐ社会情勢の中でも、「話し合いの質」が社会を変える力になると信じ、研鑽と実践を積み重ねてきました。

昨年度は、組織としてのあり方を見つめ直し、FAJ の持続可能性を強化すべく、会計システムの再構築や収支構造の見直しを実施しました。また、ファシリテーション・サミット仙台 2025 では、共創をテーマに、ファシリテーションの力によってもたらされる価値について改めて考え、自分起点で社会とつながる大切さを再確認しました。

2026 年度は、まず FAJ 内においては、引き続き、自分たちがやりたいことの具現化を可能とするための収支構造の改善に取り組みます。一方で、対外的には、サミットで得た共創の想いをさらに一歩進め、「実践」と「連帯」に軸足を置きます。いま、私たちの周りには、地域コミュニティの維持、環境問題、ジェンダーギャップなど、正解のない複雑な社会課題が山積しています。これらの課題に対し、「誰かが解決してくれるのを待つ」のではなく、私たち自身がファシリテーションを活用しながら、現場で具体的な行動を起こし、少しずつでも成果を積み上げていかなければなりません。ファシリテーションを活用しながら対話を通じてお互いの考えや価値観を理解することで、新たな気づきや創造的な解決策を見出していきましょう。

FAJ の最大の強みは学習と実践が一気通貫に結びついている点にあります。一人ひとりが自身の現場で踏み出す「小さな一歩」は、FAJ というプラットフォームを通じて知見となり仲間の勇気へとつながります。そして、その個々の活動が結びついたとき、単独では成し得なかった大きな社会変革（ソーシャルインパクト）を生み出すことができるのです。

私たちは、ファシリテーションが一部の専門家のスキルに留まるのではなく、社会を支える不可欠なインフラとなる未来を目指します。私たち自身がワクワクするような活動をすることで、志をともにする仲間を増やし、互いに支え合いながら、より良い社会の実現に向けてともに歩みを進めていきましょう。

■　**様々な社会課題をファシリテーションの力で解決すべく、さらなる一歩を踏み出そう**

私たちは、日々の学びを自分の中だけに留めず、より積極的に身近な現場の課題解決に活かしていきます。さまざまな現場の会議を変える、あるいは困難な対話の場を支える。そんな一人ひとりの「具体的な一歩」が、社会を動かす力になります。FAJ は、その挑戦を後押しし、知見を共有し合える場であり続けます。

■　**ともに歩むファシリテーター仲間を増やし、社会により大きなインパクトを与えよう**

複雑化した社会課題に立ち向かうには、個人の力だけでなく、多様な背景を持つ仲間との協働が不可欠です。FAJ 内外でファシリテーションの価値を分かち合い、共に活動する仲間を広げていきましょう。多くの人々がファシリテーションのマインドを持つことで、社会全体に豊かな対話が広がり、より大き

なポジティブな変化を生み出すことが可能になります。
以下、主に取り組む内容を事業別に記します（（　）は担当拠点、［　］は 2026 年度拠点長を表す）。

１．ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

■　実践力の相互研鑽の場作りの推進(各支部運営委員会)

1)　北海道支部[支部長:東憲治]

- 基礎と実践を繰り返しながら学びを深め、参加者がファシリテーターとして着実に成長できる定例会を開催し、知識を身につけ、試し、振り返るという循環を通じ、自信と実践力を育む場をつくります。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(11 回)	札幌	66 名（6 名×11 回)	会員 156 名/一般 20 名

2)　東北支部[支部長:久保田和宏]

- 魅力ある定例会の企画・運営を行い、参加人数増と会員数増を目指します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(11 回)	仙台　ほか	33 名（3 名×11 回）	会員 165 名/一般 22 名

3)　東京支部[支部長:岡本久義]

- 26 年度は支部委員が楽しくいろんな事にチャレンジし、多様な会員の経験にあわせ月度複数定例会を実施します。
- 実施（案）
  1　ファシリテーションの基礎（初級編）
  2　ワークショップの作り方（中級編）
  3　調査研究の深化を図るフェローとのコラボ企画
  4　多様性を尊重した会員による定例会企画

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(11 回)	東京	66 名（6 名×11 回）	会員 440 名/一般 200 名

4)　中部支部[支部長:上井靖]

- 昨年度のイベントにて会員や一般の方から募った企画を精査・発展させ、本年度の定例会として開催します。さらに多様な視点を取り入れた学びの場を継続的に提供します。
- また、遠方からも参加可能なオンライン定例会についても、年間 2 回ほどの実施を計画しています。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(14 回)	名古屋	42 名（3 名×14 回）	会員 224 名/一般 56 名

5)　関西支部[支部長:竹内清臣]

- 本年度は「BBQ（Begin / Boost / Quest）」の 3 要素を軸に、誰でも参加しやすいオープンな場を維持しつつ、ファシリテーションの専門性を追求し社会へ還元する活動（Quality）を展開します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(11 回)	大阪/兵庫/京都 等	44 名(4 名×11 回)	会員 275 名/一般 55 名

6)　中国支部[支部長:山口千夏]

- 2025 年度に引き続き、「失敗熱烈大歓迎」をモットーに、運営委員・参加者が安心して挑戦できる場の提供を目的として、様々なテーマで定例会を開催します。
- 広島へのアクセスが難しい人向けに、オンラインの定例会を年 2 回以上開催します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(9 回程度)	広島/オンライン	27 名（3 名×9 回）	会員 66 名/一般 18 名

7)　九州支部[支部長:水野雅士]

- 「やろう、かたろう、つながろう！」をモットーに、運営委員・参加者が安心して挑戦し、研鑽・交流できる場の提供を目的として、様々なテーマで定例会を開催します。
- 福岡県へのアクセスが難しい人向けに、オンラインの定例会を複数回開催します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者

通年(11 回程度)	福岡/オンライン	22 名（2 名×11 回）	会員 110 名/一般 22 名

■ ファシリテーションの本質を探究する全国イベント（全国イベント実行委員会）[担当理事：西野靖江・河野恵]

- 「【ファシリテーション・EXPO2026 関西】－ファシリテーションが拓く「いのち」の未来共創－」として、大阪府にて全国イベントを開催します。
- 本イベントは、日本ファシリテーション協会（FAJ）と大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）及びいのち会議が協働し、「いのち宣言」の理念を実社会での行動へとつなげる実践的な共創モデルを発信することを目的としています。
- 協働主催者のうち、「いのち会議」は、2025 年大阪・関西万博において「いのち宣言」を発信し、万博終了以降もそのレガシーとして SDGs 等を推進していくことを目的とした産学連携の公式な取り組みです。また、「共創の広場 － EXPO COMMONS」に公式な活動登録をしており、万博の公式なレガシーを継承する事業として実施します。

2．ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

（公開セミナー委員会）[委員長：河村学]

- 基礎講座は、全国およびオンラインにて計 25 回・28 クラスの開催を目指します。また、「アフターミーティング（オンライン）」も継続し、計 3 回実施します。
- 更なる学びの場として、東京での「実践講座」を 2 回、フェローによる「公開講座（特別編）」を 2 回、それぞれ計画しています。
- 安定的なセミナー開催と品質向上のため、講師トライアルによる講師の増員と、既存講師のレベルアップを図る「講師トレーニング」を継続的に実施します。
- 昨年度の検証結果を活かし、集客向上のための取り組みを継続・強化してまいります。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年 (32 クラス)	札幌/仙台/富山/新潟/東京/名古屋/大阪/広島/福岡/沖縄/オンライン	160 名 （5 名×32 クラス）	会員 192 名/一般 320 名

3．各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

■ 社会からの多様な要請に対する支援の充実（ファシリテーションサポート委員会）[委員長：小栗由香]

- 引き続き、研修やワークショップへのファシリテーターの派遣だけでなく、よろず相談（丁寧なヒアリング）による助言・支援活動に注力していきます。
- 外部からの様々な問い合わせに対応できるよう、コーディネーション力を高めるとともに、MF・SF を担当いただける会員や各拠点との連携を模索します。
- ファシサポ活動の報告会（シェア＆ダイアログ）を開催し、ファシサポが行っている支援先での多様な取り組みとそこで得た知見を会員と共有し対話をはかる場を用意します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(30 回)	全国	60 名（2 名×30 回）	一般 900 名（30 名×30 回）

■ 災害復興、防災・減災に関するファシリテーションを通した支援（災害復興委員会）[委員長：平山猛]

- 災害発生時には、ファシリテーションを活用した支援として、被災地域における緊急期および復旧期での会議支援等を行います。また、復興期においては、支援団体等からの依頼のもと継続的な支援を行います。
- 会員が災害支援活動に関われる機会を設けることで、災害支援や被災地での活動に関心を持つ人を増やします。
- 災害復興や防災活動への関心を高めるため、FAJ 内外で様々な啓発活動を行います。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年(22 回)	全国	88 名（4 名×22 回）	会員 84 名/一般 454 名

４．ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

■　地域イベントを開催（各支部運営委員会、地域イベント実行委員会）

1）　北海道支部[支部長:東憲治]

- ファシリテーションが持つ力と可能性を発信し、実践の場でその価値を実感してもらうことで、「もう一度参加したい」と思える流れをつくり、会員増につなげていきます。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
2 月	札幌	10 名	30 名

2）　東北支部[支部長:久保田和宏]

- ファシリテーションの普及を目的に、会員と一般の方へ関心のあるテーマのイベントを提供し、交流を深めます。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
未定	仙台	5 名	会員 15 名/一般 15 名

3）　東京支部[支部長:岡本久義]

- 非会員への普及拡大を目指し、支部イベントを実施予定です。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
2 月	東京	10 名	100 名

4）　中部支部[支部長:上井靖]

- FAJ がハブとなり、一般参加者が集うイベントを推進します。本年度は年度当初からプロジェクトを始動させ、広報期間を長期確保することで、認知拡大と動員増を目指します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
12 月頃	名古屋	10 名	80 名 (会員 40 名/一般 40 名)

5）　関西支部[支部長:竹内清臣]

- ファシリテーション EXPO で得られた新たな知見に基づいた実践報告会を予定しています。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
2 月	大阪	10 名	60 名 (会員 40 名/一般 20 名)

6）　中国支部[支部長:山口千夏]

- 自律分散型社会の実現に向けて、社会課題への理解を深めた上で、参加者同士の対話により行動の一歩や活動の発展につなげることを目的として、湯浅誠氏を招いた対話型イベントを開催します。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
7 月	広島	8 名	会員 10 名/一般 50 名 (大学生 15 名/高校生以下 5 名含む)

7）　九州支部[支部長:水野雅士]

- 非会員への普及拡大を目指し、支部イベントを開催予定です。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
未定	未定	5 名	会員 20 人/非会員 20 人

■　国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化（グローバルファシリテーション推進委員会）[委員長:水江泰資]

- FAJ 内外でのグローバルファシリテーションの実践と連携をさらに推進し、持続的な活動基盤の形成を図ります。多様な文化・言語を尊重しながら、相互理解と協働が生まれる関係性の深化を目指します。
- 各支部や他委員会、外部団体との連携を強化し、国際的な視点とデジタル活用を融合した交流・親睦活動を展開します。さまざまな参加機会の創出により、会員の主体的な関与と学びの循環を促進します。
- IAF（国際ファシリテーターズ協会）をはじめとする国内外のファシリテーション関連団

体との協働を深化させ、相互交流と実践知の共有を推進します。委員会活動の価値を FAJ 会員に広く発信し、誰もが参画しやすい環境づくりとプロモーションの工夫を進めます。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年	全国	5 名	会員 50 名/一般 20 名

■ 他団体との連携強化（事務局）[事務局長:田代翼]

契約の確認や関連事務など、連携等における事務的サポートを行います。

5．広報・コミュニケーション活動

■ FAJ 内外への情報発信の強化（広報委員会）[委員長:林加代子]

1） FAJ 内への情報発信の強化

- 会員間の情報共有に向けた、ホームページの構成、内容・データ整備の充実について実施するとともに、新しいコンテンツを引き続き検討していきます。

2） FAJ 外への情報発信の強化

- 新しいコンテンツを展開する等、今までの概念にとらわれないアプローチをさらに企画・検討、実施していきます。

6．組織運営に関わる活動

■ 運営のやり方の検討（理事会、各拠点、事務局）[事務局長:田代翼]

- 単年度収支バランスの適正化の徹底が定着した次のステップとして、ファシリテーションの普及に係る協会の活動を進化させるための、予算のあり方について、拠点とともに検討を行います。
- 情報共有会を引き続き開催し、理事・各拠点メンバーで組織の課題について考える場を設けます。また、各拠点での活動の見える化等、拠点間がつながりやすくするための取り組みを進めます。
- 協会の運営に関する負担の軽減、並びに組織の維持に必要な管理事項を整理し、FAJ の活動に適した事務改善に努めます。
- 新会員管理システム（ぜぶらる）の運営上の利用について、拠点から会員への情報共有の利便性等の向上に貢献する仕組みを検討します。

■ 拠点運営のサポートの充実とデジタル化の推進（デジタル推進委員会）[委員長:角谷裕司]

- 運営基幹システムの安定稼働支援をします。
- 各拠点のデジタル化の支援および、組織横断に向けた、定例会レポートデータベースの導入、利用定着化に向けての活動の推進や拠点活動運用の効率化の検討の継続をします。
- 生成 AI の利活用に向けたガイドラインの検討・作成を行います。

7．その他の活動

■ 共通の目的を有する会員・各種団体との価値創出（協働促進プログラム委員会）[委員長:向山聡]

- 他団体へのアプローチなどを増やし、協働案件増加のきっかけを作ります。
- 自主提案による協業事案に挑み、モデル例になるような事例の開発に努めます。
- 内外への広報活動を継続拡大すると共に、支部・サロン等との協力関係拡大に努め、認知向上と協力メンバーの増加を図ります。

実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
通年	全国	20 名	200 名

2026年度「特定非営利活動に係る事業」（「その他の事業」は収入・支出共に計画予算無し） 単位＝円

予算作成に対する考え方は、APPENDIXをご参照ください。

2026年4月1日から2027年3月31日まで　特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会

科　目	2026年度予算	予算内訳												
		事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開ｾﾐﾅｰ	サミット	ファシサポ	災害復興	協働促進
Ⅰ 経常収入の部														
個人会費収入	10,000,000	10,000,000												
	10,000,000	10,000,000												
2 事業収入														
調査･研究事業収入	967,500		0	33,000	10,000	24,000	70,000	15,500	16,000		799,000			
教育･普及事業収入	10,100,000									10,100,000				
支援･助言事業収入	3,930,000											3,930,000		
交流･親睦事業収入	705,000		30,000	65,000	0	230,000	75,000	90,000	215,000					
その他事業収入	480,000													480,000
収入合計	16,182,500		30,000	98,000	10,000	254,000	145,000	105,500	231,000	10,100,000	799,000	3,930,000	0	480,000
3 寄付金収入														
個人寄付金	0													
法人寄付金	0													
	0													
4 助成金等収入														
民間助成金	0													
	0													
収入合計	26,182,500	10,000,000	30,000	98,000	10,000	254,000	145,000	105,500	231,000	10,100,000	799,000	3,930,000	0	480,000
Ⅱ 経常支出の部														
1 事業費														
調査･研究事業支出			北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州		サミット	サロン	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	
会場使用料	1,959,685		176,885	103,000	480,000	193,000	350,000	90,000	100,000		466,800	0	0	
事務消耗品費	122,029		3,529	8,000	40,000	20,000	30,000	2,000	3,500		15,000	0	0	
交通宿泊費	1,048,000		320,000	50,000	184,000	124,000	130,000	110,000	100,000		30,000	0	0	
謝礼等	858,411		33,411	60,000	200,000	300,000	60,000	0	55,000		150,000	0	0	
印刷費	91,000		12,000	7,000	10,000	5,000	25,000	8,000	4,000		20,000	0	0	
会議費	218,375		66,375	12,000	14,000	32,000	65,000	10,000	19,000		0	0	0	
雑費	341,000		20,000	35,000	16,000	2,000	20,000	5,000	5,000		8,000	200,000	30,000	
外部委託料	216,971		0	0	0	90,000	60,000	0	0		66,971	0	0	
	4,855,471		632,200	275,000	944,000	766,000	740,000	225,000	286,500		756,771	200,000	30,000	
教育･普及事業支出										公開セミナー		サロン／プロジェクト詳細		
会場使用料	1,700,000									1,700,000		【サロン：（地域型）10/（テーマ型）3】各サロンの活動にかかる、会場使用料，事務消耗品費，交通宿泊費などの経費。 サロンの活動実態に合わせ雑費として計上している。 【プロジェクト】 出前授業プロジェクト		
事務消耗品費	90,000									90,000				
交通宿泊費	1,400,000									1,400,000				
謝礼等	3,920,000									3,920,000				
印刷費	670,000									670,000				
会議費	162,000									162,000				
雑費	780,000									780,000				
外部委託料	0									0				
	8,722,000									8,722,000				
支援･助言事業支出												ファシサポ	災害復興	
会場使用料	20,000											0	20,000	
事務消耗品費	32,000											22,000	10,000	
交通宿泊費	1,140,000											240,000	900,000	
謝礼等	1,870,000											1,730,000	140,000	
印刷費	40,000											0	40,000	
会議費	0											0	0	
雑費	44,500											4,500	40,000	
	3,146,500											1,996,500	1,150,000	
交流･親睦事業支出			北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル				
会場使用料	515,000		30,000	50,000	0	230,000	25,000	30,000	150,000	0				
事務消耗品費	32,500		10,000	5,000	0	5,000	5,000	2,500	5,000	0				
交通宿泊費	500,000		60,000	50,000	0	40,000	0	70,000	80,000	200,000				
謝礼等	287,500		0	60,000	0	56,000	30,000	30,000	111,500	0				
印刷費	43,000		10,000	8,000	0	10,000	5,000	5,000	5,000	0				
会議費	32,500		0	20,000	0	5,000	7,500	0	0	0				
雑費	87,500		0	10,000	0	15,000	2,500	0	10,000	50,000				
外部委託料	0		0	0	0	0	0	0	0	0				
	1,498,000		110,000	203,000	0	361,000	75,000	137,500	361,500	250,000				
その他事業支出														協働促進
会場使用料	55,000													55,000
事務消耗品費	3,000													3,000
交通宿泊費	327,000													327,000
謝礼等	290,000													290,000
印刷費	0													0
会議費	0													0
雑費	0													0
	675,000	0												675,000
事業予備費	3,132,029													
事業費計	22,029,000	0	742,200	478,000	944,000	1,127,000	815,000	362,500	648,000	8,972,000	756,771	2,196,500	1,180,000	675,000
2 管理費		事務局	デジタル	広報	事務局詳細									
広報費	0	0	0	0										
交通宿泊費	1,902,720	1,450,000	253,400	199,320	（理事会）総会60万（理事・監事・新役員候補）、リアルMTG40万（事務局）総会20万、リアルMTG25万									
会議費	50,000	50,000	0	0	（事務局）総会資料説明会会場　4カ所（関西、東京、中部、中国）1.25万×4カ所　※総会会場は全国イベント共催者のご厚意で今年度負担なし									
事務消耗品費	20,000	20,000	0	0	名刺代1万、その他備品消耗品1万									
通信運搬費	30,000	30,000	0	0	郵便2万、システム利用料1万									
諸会費	60,000	60,000	0	0	JVOAD5万、日本NPOセンター1万									
雑費	1,160,000	1,130,000	10,000	20,000	新会員システム未利用者通知10万（600名分）、会員管理−決済システム利用料（103万）、									
資料印刷費	10,000	10,000	0	0	パンフ印刷1万									
外部委託料	2,645,380	2,480,000	36,480	128,900	会計事務120万、税務28万、登記15万、経費精算80万、旧決済システム口座維持費5万									
支払手数料	320,000	320,000	0	0	振込手数料27万、EB使用料5万（2.5万×2）、会費払込手数料20万									
賃貸料	688,000	688,000	0	0	主たる事務所家賃68万、その他0.8万									
租税公課等	1,000,000	1,000,000	0	0	法人税均等割・消費税・源泉徴収税									
保険料等	40,000	40,000	0	0	NPO損害保険4万									
管理費計	7,926,100	7,278,000	299,880	348,220										
支出合計	29,955,100													
Ⅲ 当期予算収支差額	▲ 3,772,600	（参考：予備費を除いた収支差額　▲ 640,571　）												
前期繰越収支差額	31,320,291													
次期繰越収支差額	27,547,691													

＜第三号議案＞　2026 年度役員の選任について

（普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決）

1.　2026 年度の理事候補者 （敬称略、再任、新任で 50 音順）

再任　河野 恵　　（こうの　めぐみ）
再任　小林 政文　（こばやし　まさふみ）
再任　田代 翼　　（たしろ　つばさ）
再任　西野 靖江　（にしの　やすえ）
再任　箱崎 博信　（はこざき　ひろのぶ）
再任　前田 卓也　（まえだ　たくや）
再任　山田 真司　（やまだ　しんじ）

新任　豊嶋 新一　（とよしま　しんいち）
新任　増平 貴之　（ますひら　たかゆき）

2.　2025 年度の監事候補者 （敬称略、再任、新任で 50 音順）

再任　鳥羽 秀人　（とば　ひでひと）

新任　亀井 直人　（かめい　なおと）

※新役員候補のプロフィールは APPENDIX をご参照ください

＜第四号議案＞　定款の一部変更について

（特別決議：総会に出席した正会員の四分の三以上の多数による議決）

変更理由：
　入会時期により生じる、初年度の会員期間の長短の差を少なくし、一般の方が時期に関わらず入会の検討をしやすくなるようにするため。

内容：
　定款の一部を、以下の通り変更する。
　下線部が変更部分。

変　更　前	変　更　後
（会員の資格の喪失） 第９条　会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 (1) 略 (2) 略 (3) 新年度初日から起算して３箇月以内に会費の納入がないとき。 (4) 略	（会員の資格の喪失） 第９条　会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 (1) 略 (2) 略 (3) ①３月１日から５月３１日までに会費を納入した会員が翌年３月３１日までに会費を納入しないとき。 ②６月１日から８月３１日までに会費を納入した会員が翌年６月３０日までに会費を納入しないとき。 ③９月１日から１１月３０日までに会費を納入した会員が翌年９月３０日までに会費を納入しないとき。 ④１２月１日から１２月３１日までに会費を納入した会員が翌年１２月３１日までに会費を納入しないとき、１月１日から２月２８日（閏年は２９日）までに会費を納入した会員が同年１２月３１日までに会費を納入しないとき。 (4) 略

併せて、定款変更認可申請における字句の一部修正委任について総会の承認を求める。
（普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決）

＜第五号議案＞　会費の変更に関する件

（普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決）

内容：会費を下記のように変更する。

この法人の年会費を、令和 9 年 3 月 1 日から、次に掲げる額とする。

年会費　正会員　　個人　14,000 円

法人 140,000 円

賛助会員　個人　13,000 円

法人 130,000 円

会費変更の理由：下記のとおり。

【参考：協会の持続可能性の確保と、活動価値のさらなる向上に向けて（会費変更の理由）】

FAJ は 2003 年の設立以来、20 年以上にわたり一度も会費を変更せず運営を続けてまいりました 。しかし、近年の社会情勢と当協会の財政状況を鑑み、今後も質の高い活動を継続するため、以下の理由により会費の改定をお願いしたく存じます。

1) **現場を代表する運営メンバーによる提言**
   - ➔ 本変更は、2024 年度に、全国の拠点・事務局・理事の代表者で構成された「予算適正化チーム」が 10 回にわたる議論を重ね、現場の視点から導き出した「次世代に FAJ を繋ぐための最適解」としての提言に基づくものです。
2) **外部環境の変化への対応（物価上昇の影響）**
   - ➔ 主要な活動拠点となる会場費や、定例会・委員会の運営に不可欠な交通費・宿泊費が大幅に上昇しています。特に宿泊費は 2004 年度比で約 55%上昇するなど、従来の会費設定では活動の維持が困難な状況にあります。
3) **財政構造の健全化と持続可能性の担保**
   - ➔ 2022 年度から 2024 年度までの 3 年間で累計約 1,500 万円の赤字を計上し、内部留保が減少しました。これまでは「支出を収入に合わせる（削る）」努力を重ねてきましたが、これ以上の削減は活動の制約に直結する段階に達しています。
4) **活動の質の維持と新たな社会的役割の遂行**
   - ➔ 魅力ある定例会の開催（講師招聘等）、災害復興支援・社会課題解決への協働など、会員の皆様が「求めている活動」だけでなく「協会が社会より求められている活動」を制限なく、かつ高い質で実行できる予算基盤を確立します。

議題に関する参考資料

2024年度に各拠点長からなる予算適正化チームより理事会にいただいた１３の提言について、現時点での進捗を報告します

提言	状況	取り組み状況
1. 予算適正化チーム策定の2025年度予算案承認	済	承認をしました。2025年度の予算は予算適正化チームが作成した内容と同一のものとなっています
2. 勘定科目（例：交通費←→謝礼）などの科目変更を迅速に承認してほしい	済	担当理事による承認で処理できるようにしました
3. 総会資料について、グラフ等を用いてでわかりやすくしてほしい	済	2025年度総会より、わかりやさに努めています
4. 提言に対する理事会の検討結果を開示してほしい	済	議事録ならびに情報共有会議にて随時公開しています
5. ニューズレターを廃止してほしい	済	廃止を承認しました。なお、「ファシリテーション通信」という名前でニューズレターと同様なコンテンツを会員にお届けしています
6. 支部イベント実施は、支部判断に委ねてほしい	済	各支部の判断でOKとしました
7. 2026年度以降のサミットは黒字前提で開催するようにしてほしい	済	今後も黒字前提とします
8. 発災時等に迅速な予算議決するスキームを確立してほしい	済	予算に予備費を計上し、発災時や緊急時により迅速に予算執行できるスキームを整えました
9. 賛助会員、正会員の会費を見直してほしい	済	会員の意見を広く求めたうえで検討を行い、会費見直し案として、正会員14,000円、賛助会員13,000円とする案を作成しました

提言	状況	取り組み状況
10. 寄付金活動を行えるようにしてほしい	済	NPO団体において、寄付活動を可能にするには、NPO関連法に沿ったルール決めが必要となります。検討を進めましたが、関連法案を確認するには深い知識や時間が必要であることがわかりました。現在の事務局の体制では、この対応をすることは難しく、大変申し訳ありませんが、現時点では寄付金活動は行わないといたします
11. 無料会員を新設してほしい	済	無料会員を新設しました。無料会員のうち希望する方には、各種イベントやコンテンツを提供できるようになりましたので、各拠点にて広報活動にお役立てください。無料会員は厳密には会員（正会員、賛助会員）ではありませんので誤解が生じないよう「ビジター」と呼称することにします
12. 支部で収入を伴う活動をすることについて	済	1/31の情報共有会にて各拠点に確認を行い、１支部で希望があることがわかりました。今後は当該支部を支援しながら収入を伴う活動が行えるよう進めていきます
13. 法人会員に一定範囲の営業活動を可能にする	検討中	会員コメントは収集済みですので、その内容をもとに引き続き理事会で検討を続けます

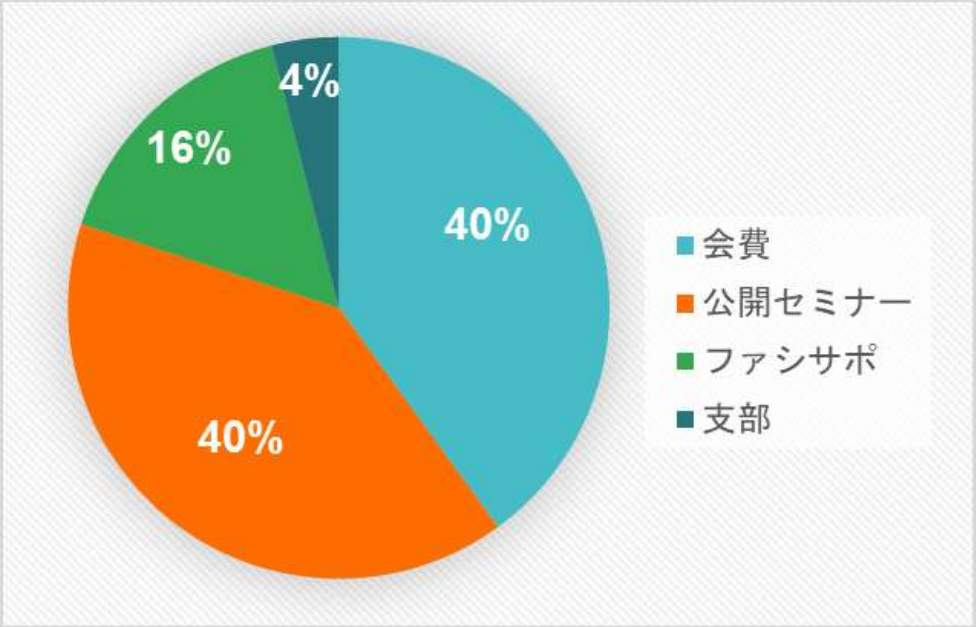
予算説明補助資料

ＦＡＪ村には１０人の住人がいます。１０人の村人はファシリテーションを世の中に広げる活動をしています。活動は５種類あります

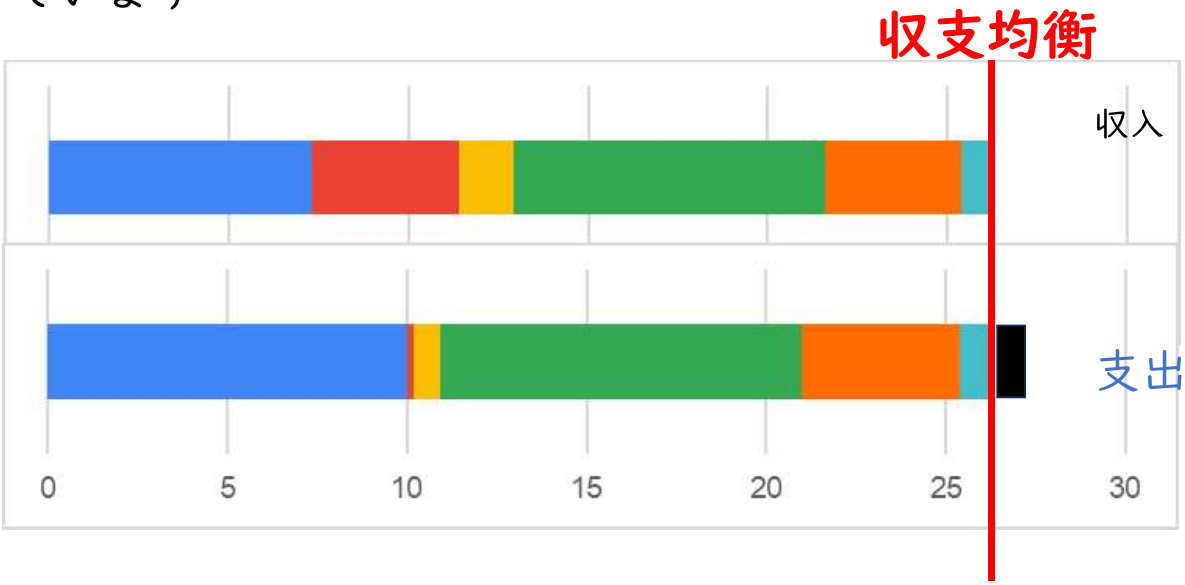
①調査研究活動
　支部定例会
②交流親睦活動
　支部イベント　グローバル委員会
③教育普及活動
　セミナー委員会
④支援助言活動
　ファシサポ委員会　災害復興委員会　協働促進委員会
⑤村運営活動
　事務局　理事会　広報委員会　デジ推委員会

ＦＡＪ村の収入は、１０人の住人の会費やそれ以外にも主にセミナー委員会やファシサポ委員会、支部が収入を得る活動をしており、合計２６．１万円の収入があります

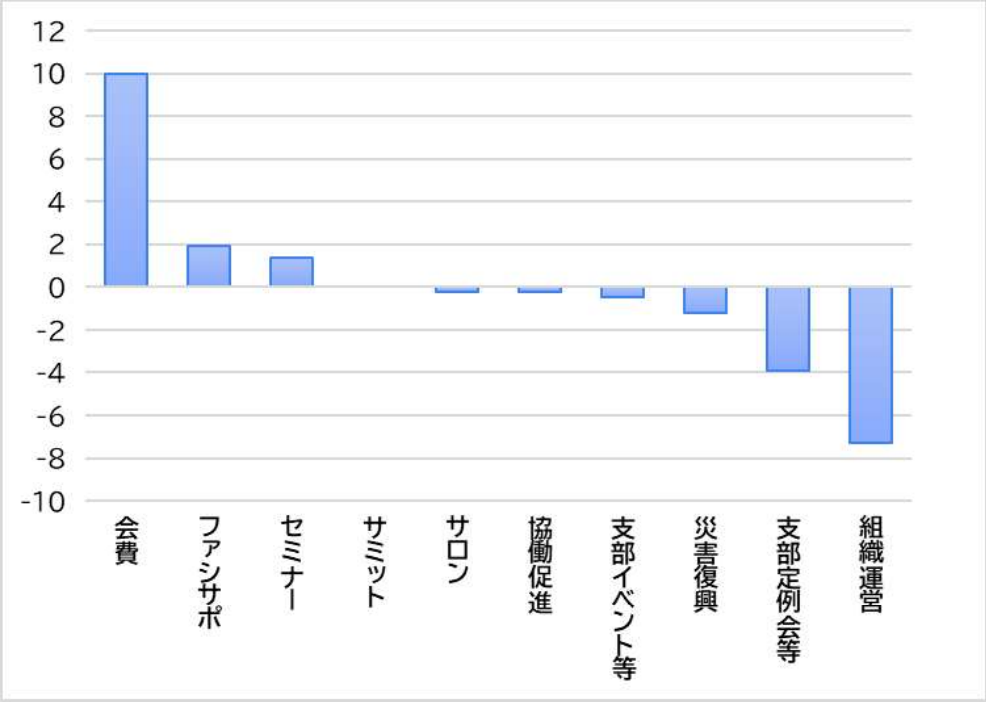
収入２６．１万円の内訳



ＦＡＪ村では、収入以上に支出を使わないという
「**収支均衡**」の考えが取り入れられています
（予備費３万円は除く）
最近、これまでの活動に比べ税金が1万円ほど増えたので、少し支出が多いですが、なるべく収支均衡にするようにしています



ＦＡＪ村での各活動の収支をみると、会費以外ではファシサポ、セミナー活動が収支プラスです。収支がマイナスの活動については組織運営、支部定例会、災害復興の順にマイナス額が大きいです



最も収支がマイナスの組織運営のコストの詳細は以下の通りです。システム利用料、家賃、事務処理など削減不可のものが多いですが、総会や、事務局、委員会のミーティングをすべてオンラインにすることで削減できる部分もあります。ただし、現在では総会はリアル開催、各委員会や事務局に対し、年１回までのリアルミーティングにかかる交通費を支給しています

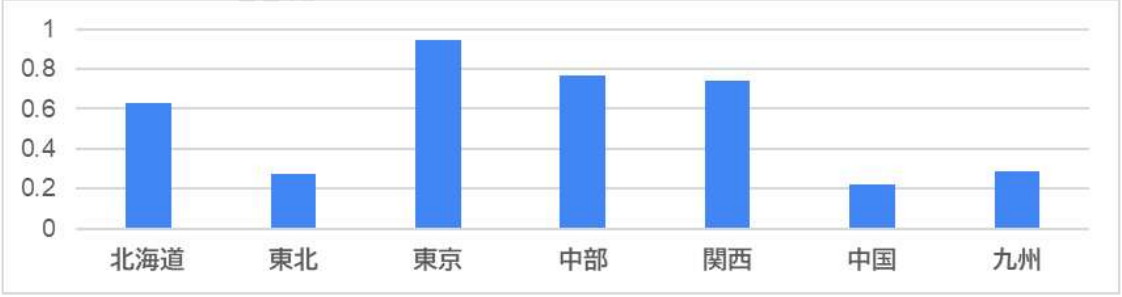
運営費７．５万円の内訳

内訳	金額(万円)	削減できるか
システム使用料	1.9	削減は難しい
事務処理	1.6	削減は難しい
総会開催費用	1.0	総会をオンラインで行えば削減可能
家賃	0.7	削減は難しい
リアルミーティング	0.7	会議をすべてオンラインで行えば削減可能
手数料	0.5	削減は難しい
その他	0.3	削減は難しい(郵送費、社外会費など)
デジ推	0.3	会議をすべてオンラインで行えば削減可能
広報	0.3	会議をすべてオンラインで行えば削減可能
協働促進	0.2	会議をすべてオンラインで行えば削減可能

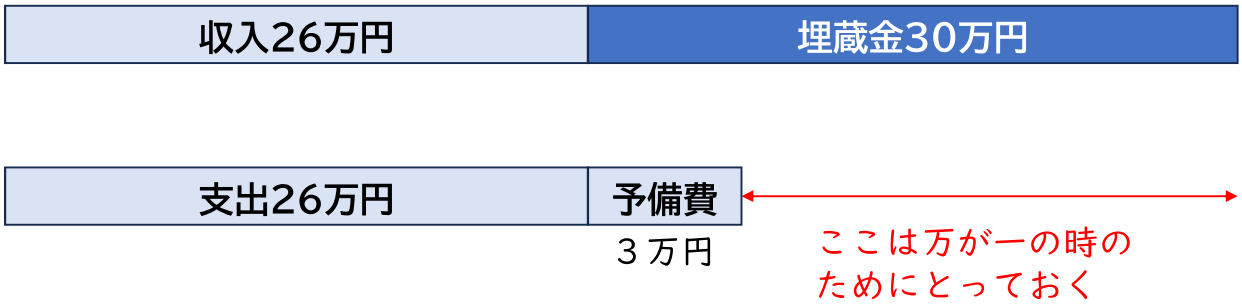
次に収支マイナス額の大きい、定例会のコストの詳細は以下の通りです。会場使用料、事務消耗品、講師の交通宿泊費のコストが大きいです。また支部ごとにばらつきがあります

定例会３．９万円の内訳（全支部計）

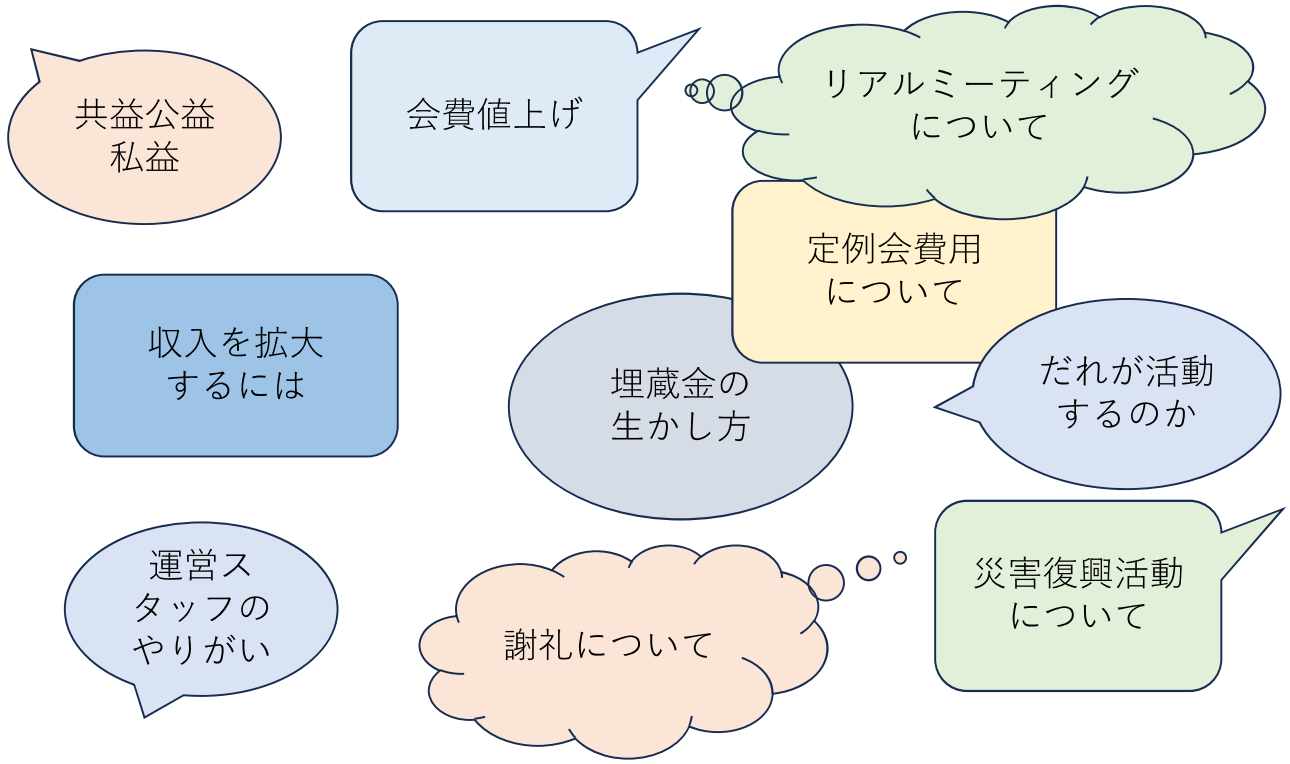
内訳	金額(万円)	備考
会場使用料	1.5	
事務消耗品費	0.1	
交通宿泊費	1.1	講師の交通宿泊費
謝礼等	0.7	
印刷費	0.1	
会議費	0.2	
雑費	0.1	
外部委託料	0.1	倉庫利用料など



- ＦＡＪ村には実は30万円の埋蔵金（内部留保金）が存在しています
- この埋蔵金を使ってしまおうという村人もいますが、現在のFAJでは、これは、システム障害や発災時における災害復興委員会の活動費用、損害賠償等の突発的な費用、また今後の有益な活動などのために使わないでおくという考え方にしています
- 予算を立てる際、どうしても収支均衡とならず赤字予算になる場合にはこの埋蔵金を利用しています
- 突発的な事象に迅速に対応できるよう、埋蔵金の１０％である予備費３万円を計上しています。予備費は収支均衡の外枠ですので、実際に予備費を使うと、この埋蔵金が減少することになります



あなたも村人の一人です。ＦＡＪ村での予算はどのようにすればよいと考えますか？今後ぜひ対話にご参加ください



（ご注意）

- この資料は、FAJ会員、賛助会員にのみ公開する資料です。会員でない方にこの資料を配布することは禁じます
- この資料は、2026年度総会において、FAJ全体の収支をわかりやすく説明するために作成したものです
- 資料上の値を100倍すると実際のFAJの予算に近い数値となりますが、わかりやすさを優先しているため、一部正確でないところもあります
- この資料は、収益の拡大や支出の抑制を呼びかけたり指示したりするものではありません。また、特定の拠点においての予算編成の考え方を批判したり賞賛しているものではありません
- この内容は2026年度の理事会にて作成されたものであり、過去の理事会の見解や、今後の理事会の見解と異なることがあります。また、過去や今後の理事会の見解を否定するものではありません
- この資料の内容は予告なく修正することがあります
- この資料の内容をもとに、各拠点に対して安易に批判を行うことはご遠慮ください。収支については、この資料に記載されている内容以外にも数多くの考慮事項があり、それらについて本資料は言及していないためです。反対に、予算に関する様々な考慮事項を理解したうえでぜひ関係者と対話をしていただき、会員、賛助会員としての意見を述べていただければと思います
- 収支均衡の考え方は、2025年度、2026年度の予算編成について適用しているものであり、今後の予算編成においては未定です

新役員候補プロフィール

		氏名	FAJネーム	FAJでの主な活動場所	ファシリテーションの活動領域（○○系とか）	主な実践の仕方(研修で使っています。とか)	ファシリテーション以外の活動(FAJ以外に何をやっていますか)	コメント
	再	河野恵	メグ	全国イベント系、協働促進プログラム委員会	生成的対話の場コミュニティ（ＧＣＢＣ）、ワールドカフェコミュニティ	ＦＡＪ以外の対話にフォーカスしたＮＰＯ活動などでも使っています。	日本酒担当理事？を仙台サミット2025で拝命しました。対話の場作りとして、今年はＴＷＣ３０（ワールドカフェ日本上陸30周年）の実行委員など‥。	丙午（年齢がばれる！）で、いて座Ｏ型。熱しやすく冷めやすいと言われる私がワールドカフェにと対話の稲妻に打たれ入ったＦＡＪはすでに10年以上。もしや以外に粘る性格かも。楽しいこと大好き、人と話すの大好き、いろんな人とつながって一つのことを成し遂げることやお祭り大好き!!!!
	再	小林政文	まーぼー	沖縄サロン	環境教育、地域創生	ワークショップ、会議、研修講師	環境教育、自然体験、エコツーリズム、環境保全	ノストラダムスの大予言、1999年地球が滅亡する。から地球を守りたいと自然保護を目指し、自然を守るためには人と関わり合うことにたどり着き今に至ります。許しあい、認め合い、感謝し合えるような社会の発展に力を注ぎたいと思っています。
	再	田代翼	つばさ	東京支部	地方行政	主に、組織内会議、研修等で使用	地方行政職員（衛生獣医師）	以前、市役所で働いていて、動物愛護などの分野で市民団体の方々とやり取りするにあたってどうするといいかなと、いろいろ勉強する過程でファシリテーションを学ぶようになり、ＦＡＪにも関わり、いろいろあって今があります。気兼ねなく継続して学ぶ場所として、ＦＡＪがあることに感謝です。
	再	西野靖江	すばる	中部支部、全国イベント、セミナー委員会	民間企業等	組織開発、組織内会議、教育研修など	キャリアコンサルタント、コーチング、星読み	会議が堂々巡りをし続けて3時間、どうしたものかと思って、いろいろ探しているうちに堀さんのファシリテーションの本に出合いました。目から鱗が落ちる感覚でした。その後基礎講座を受講してFAJに入会。現在のところ、「対話はどうしたら深まるか？」「ファシリテーターは黒子としてなにをしているのか？」という問いを探求しています。社会の中でファシリテーションが役立つところはまだまだ広いと感じます。
	再	箱崎博信	ハコ	中国支部、九州支部	民間企業	取引先での会議、研修で使用	地銀系コンサル、中小企業診断士	趣味はトミカ収集と近所の山へのトレッキング。社内異動で会議運営を任され戸惑っていた際にFAJと出会ったのか入会のきっかけです。ファシリカも理事としてのリーダーシップもイマイチですが、自分ができることを取組んでいこうと思います。皆さん、よろしくお願いします。
	再	前田卓也	まえたく	東京支部	民間企業	会議、研修	釣り、謎解き、ゴルフ	SIerでITの経験が長いです。企業では、時間内に最高の合意形成をすることが求められますので、きちんと合意して結論を効率よく出すためのファシリテーションが好みです。
	再	山田真司	やましん	セミナー委員会、災害復興委員会	講師業、市民向けワークショップ	研修で使っています。	やりたいことがあるのですが、やれていません。理事を卒業したら、やりたいと思っています。	理事も4年目となりました。 就任当初は、何かお役に立てることはないか！と肩に力が入っていましたが、最近は自然体で「やることはやるが、どうなるかはあまり深く考えないでおこう」という感じでいます。 人見知りは相変わらずですが、お知り合いを増やすよう、いろいろな場にお邪魔していきたいと思っています。
	新	豊嶋新一	とよしー	関西支部、ファシサポ委員会	民間企業、学校教育	主に社内会議や教育研修などで活用してます	ファイナンシャルプランナー、金融教育	座右の銘は「頼まれ事は試され事」。困っている人を放っておけない性格からFAJに関わってきました。 入会当初、社内会議にファシリテーションを取り入れ場が劇的に変わった経験が私の原点です。現在はFPとして、相続や介護といった「家族会議」の場でその力を活用し、有効性を実感しています。ファシサポ委員としての経験も糧に、社会課題の解決に向けてファシリテーションをどう普及させていくか、皆さんと共に考えていきたいです。
	新	増平貴之	ますら～	東京支部、公開セミナー委員会、デジタル推進委員会、広報委員会	ビジネス、教育	会議やセールスの場、年間50回程度のワークショップ、勉強会	会社員、島巡り	ＦＡＪ生活も１５年以上になり、会社員生活も３５年以上になり、第２の足音も聞こえてきていますが、まだまだ、「習うより慣れよ」をどこまで突き詰めることが出来るか、日々色々なことを実践中です。
監事	再	鳥羽秀人	とっち	中部支部	領域を問わず広く社会に還元	研修、ワークショップ、会議	推し活	元々は自分に至らないものを追い求めて辿り着いたファシリテーションの世界、まだまだ未熟で修行の身と思ってはいますが、何か世の中にお役に立てることがあればと日々精進しています。
	新	亀井直人	かめさん	九州支部、デジタル推進委員会、協働促進プログラム委員会	ビジネス、市民活動、社会課題解決、教育	年間40本ほどの企業研修、まちづくりNPOでは市民向けワークショップ開催	自治会、PTA活動、プロジェクトマネジメント	マイパーパスは「皆で世界の変化を生みだすために、粘り強く、場をひらき、つなぐ」です。システム思考家が世の中にもっと増えていくことを願って様々活動しています。こうと決めたらやり遂げる、くらいついて離れない粘り強さが強みなのだろうなと最近思っています。

第四号議案　定款の一部変更について（参考資料）

現状

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月

▲ 有効期限　　▲ 退会

3ヶ月間
会費入金が
無ければ退会

【課題①】

月が進むほど初年度の会員期間が短い

月が進むほど、入会を検討する方にはハードルが高くなり、入会のオススメにも抵抗感が出る

本来、毎年の会員期間は３月末までしかし、会費徴収を支払票による振り込みとしたため確認や情報連携に時間がかかり６月末までの猶予を取っている

【課題②】

総会表決の対象に、表明のモチベーションを持たない無言の退会者が含まれ、毎年総会成立に苦労している

新会員管理システムの導入により即時決済・情報連携が可能になり上記課題①②の解決ができるようになりました

改定案：入会時期を４区分に分け次の会員期間とし、有効期限の末日の翌日を退会日とする

会員区分	会費納入開始日	会費納入終了日	有効期間
春会員	3月1日	その年の 5月31日	会費納入開始日 翌年の 3月31日まで
夏会員	6月1日	その年の 8月31日	会費納入開始日 翌年の 6月30日まで
秋会員	9月1日	その年の11月30日	会費納入開始日 翌年の 9月30日まで
冬会員	12月1日	翌年の 2月末日	会費納入開始日 翌年の12月31日まで

会費変更（値上げ）説明資料

目次

１．会費値上げの経緯
(1)これまでの取り組み
(2)予算適正化に向けて方向性を検討するチームの提言
(3)会員コメント
(4)理事会での議論

２．会費値上げの必要性
(1)外部環境の変化
(2)ＦＡＪ内の環境の変化

３．値上げ額はいくらにすべきか

４．今後の取り組み

総会議題(案)

【現在】
年会費　正会員　　1万円
　　賛助会員　2万円

【2026年度総会で提案したい金額(案)】
年会費　正会員　　1万4千円
　　賛助会員　1万3千円

※2003年の設立当初から金額変更せず

１．会費値上げの経緯

(1)これまでの取り組み

　コロナ禍をきっかけに、FAJ活動の継続可能性についてさまざまな検討を行ってきた。収入増をはじめとする新たな資金調達や、会員増についてアイデアを出したものの、十分な成果をあげるには至らなかった。
　一方、2022年度から3年続けて赤字決算となり、この3年間で内部留保は1,500万円減少する事態となった。そこで、収支構造を見直しが喫緊の課題であるとの会員間の共通認識のもと、2025年度は黒字予算(＋3万円)を組むことができた。

１．会費値上げの経緯

(2)予算適正化に向けて方向性を検討するチームの提言

収支均衡予算をめざすべく、2024年度に、FAJのすべての拠点、事務局、理事会から選出したメンバーにより構成されるチーム(＝予算適正化に向けて方向性を検討するチーム、以下「予算適正化チーム」)が結成され、10回の会議を経て、収支バランスを適正化した2025年度予算案を作成された。

加えて、このチームにおいて、今後のFAJの運営に関する13の提言が理事会に提出され、このうちの9番目の提言として「議決権のない賛助会員の価格を現在の正会員の価格と同程度とし、正会員の価格を値上げする」とされた。

【2025年度総会資料より抜粋（2025年度通常総会議事資料 参考資料3）】

9. 議決権のない賛助会員の価格を現在の正会員の価格と同程度とし、正会員の価格を値上げする（例：賛助会員10,000円、正会員12,000円）

・項目11、13とともに、会員のあり方として、今後理事会内で協議・検討します。

１．会費値上げの経緯

(3)会員コメント

2025年7月21日～8月3日にかけて、会員ＭＬにてコメントを募集。

【会費の値上げについて】
賛成　4名
反対　5名
どちらとも言えない　4名
(計13名)

【賛助会員の会費を正会員より安く設定することについて】
賛成　4名
反対　2名
どちらとも言えない　4名
(計10名)

１．会費値上げの経緯

(4)理事会での議論

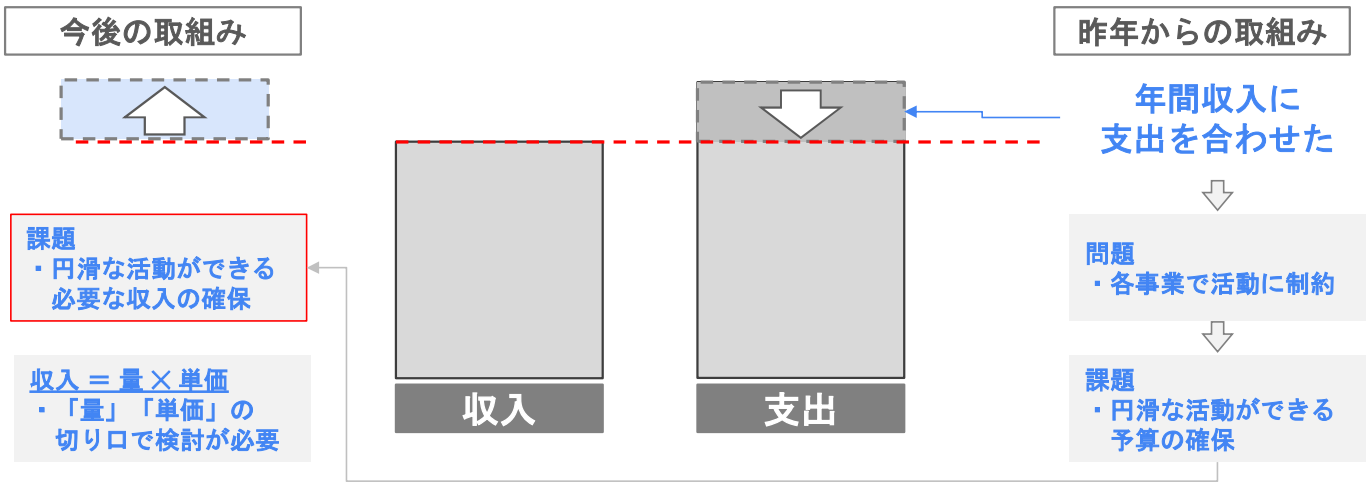
予算適正化チームの提言、および会員コメントを踏まえ、理事会で議論した

- 収支均衡予算策定にあたり、削れる費用は削っており、物価高等の社会情勢や今後のFAJ活動の充実のためには、会費値上げが必要であるとの結論を得た。
- 値上げ額および理由の詳細については、以下のスライドで説明するが、会員のみなさんには丁寧な説明が必要である旨、全理事一致。

１．会費値上げの経緯

(4)理事会での議論

収支均衡予算は、単年度の収入と支出のバランスが保たれていることを目指しています
昨年からの取組みは、自らが管理可能な支出に焦点を当てて取組みました

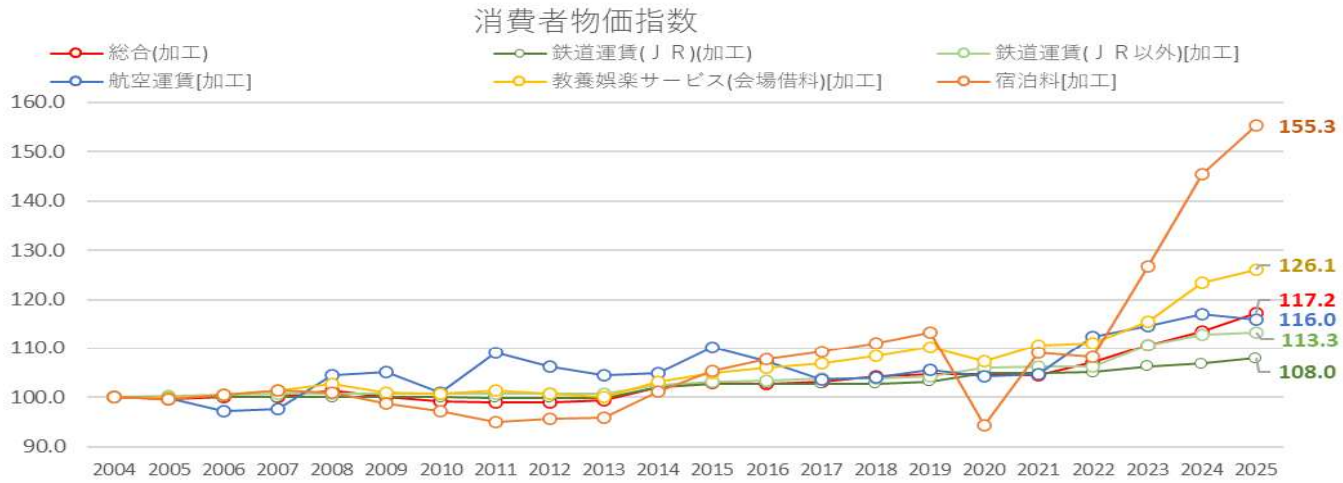


２．会費値上げの必要性

(1)外部環境の変化

①物価の上昇

※2004年を100とした消費者物価指数を示す（出展：総務省統計局）



- コロナ禍前までは概ね上下10pで推移していたが、コロナ禍以降は上昇基調となった
- 2025年度は総合が117、鉄道運賃110前後、教養娯楽サービス[会議借料]126、宿泊料155と上昇している

２．会費値上げの必要性

(2)FAJ内の環境の変化

①財政状況の変化

- 会員数は2016年をピークに減少基調となっています
- 会員数の減少に伴い会費収入も減少しています

２．会費値上げの必要性

(2)FAJ内の環境の変化

①財政状況の変化

・直近10年間の収入と支出では、コロナ禍以降の2023年度以降は支出超過となっています
・2023年～2025年の3年間の赤字累計は約1500万円程度となっています

２．会費値上げの必要性

(2)FAJ内の環境の変化

②内部留保額の減少

・FAJ創設以降、内部留保額(正味財産)は増加し2022年に4,400万円を超えました
・それ以降の3期は収支マイナスとなり直近では3,100万円程度となっています

２．会費値上げの必要性

(2)FAJ内の環境の変化

③収支均衡予算の必要性

- 2024年実績以前の10年実績に基づく収支予想では、年間収支△200万円～△400万円となり、内部留保は上記の通り減少します
- 支払能力の低下による活動の制約、最終的に支払不能による機能停止が危惧されます

２．会費値上げの必要性

(2)FAJ内の環境の変化

④各種活動の充実等

■活動範囲の拡大に対応する必要性

- 2024年度協働促進プログラム委員会が発足。FAJ内外と協働し、さまざまな社会課題の解決にむけて、活動を広げていく必要がある
- 近年多発する災害につき、ファシリテーションの力で復興の手助けを充実させる（災害復興委員会）

■定例会の質の向上に向けて

- 定例会にかかる費用（調査研究費）は減少傾向。
  →著名な方やフェローを定例会に招く等、より魅力的な定例会の開催を可能とする

２．会費値上げの必要性

(2)FAJ内の環境の変化

④各種活動の充実等(続き)

■会員がやりたい活動をきちんとできるようにする

・今後の方向性を検討する会議(スタッフミーティング)　や理事会合宿が開催できない現状
→これらを開催することにより、中長期的な活動の方向性をしっかりと議論することが可能に

・2025年度、支部イベント開催しない支部もある
→支部イベント開催で、会員内外の交流親睦を充実させる

・2026年度予算では、各拠点のリアルミーティングを年1回分しか支給できず
→リアルでしっかり話し合えるようにする

■適正な経費支出を可能に

・宿泊費の高騰で、上限1万円の交通宿泊費では会員持ち出しになるケースも
→適正な交通宿泊費の支出を可能にする

3.　値上げ額はいくらにすべきか

・複数のパターンにてシミュレーションを行い、議論をした。

会員数	1,000 人						
		会員の構成比					
		30%	25%	20%	15%	10%	正会員
会費金額		60%	60%	60%	60%	60%	賛助会員
正会員	賛助会員	10%	15%	20%	25%	30%	退会
12,000	11,000	200,000	-400,000	-1,000,000	-1,600,000	-2,200,000	
13,000	12,000	1,100,000	450,000	-200,000	-850,000	-1,500,000	
14,000	**13,000**	**2,000,000**	**1,300,000**	**600,000**	**-100,000**	**-800,000**	
15,000	14,000	2,900,000	2,150,000	1,400,000	650,000	-100,000	
16,000	15,000	3,800,000	3,000,000	2,200,000	1,400,000	600,000	

値上げにより、一定数退会者が出ることが予想される。一定の収入増を確保するには　正会員14,000円、賛助会員13,000円が妥当との結論に至った。

4. 今後の取り組み

① 会員増方策の検討・実施

② 内部留保の適正基準と使途の決定

③ 運営スタッフのモチベーション向上策の検討・実施

日本ファシリテーション協会 2026 年度　通常総会資料　修正履歴

2026 年 5 月 7 日	• p16、p18 中部支部の収入にて、支部イベント（交流親睦事業）の収入が調査研究事業（定例会）に含まれて計上されていたものを分割、それに伴い支出も一部調査研究事業から交流親睦事業に移行 • p27 新旧対照表（変更後）の欄、第 9 条の（3）③について、最後の③は正しくは④のため修正 • その他、一部文章中の誤字の訂正
2026 年 5 月 10 日	• p8 中国支部、支部イベントの記載の訂正 • p18、p25 標題中「(「その他事業」は収入・支出共に無し)」を「(「その他の事業」は収入・支出共に無し)」に訂正（定款上の表記） • p18、p25 地域サロン数の誤期の訂正「p18：10→12」「p25：12→10」（年度途中に増減があったことによる）
2026 年 5 月 15 日	• 会場の一部修正（全国イベントとの調整による）
2026 年 6 月 22 日	• 文言訂正　p18 中表題「予算内訳」を「実績内訳」に訂正